

目次

1.ファイルコンパクトについて01	4.エクスプローラの機能拡張する ...35
1.1 ファイルコンパクトとは01	4.1.エクスプローラ拡張の概要35
1.2 ファイルコンパクトでできること01	4.2.右クリックメニューの拡張36
1.3 ファイル形式の解説04	4.3 ドラッグ&ドロップメニューの拡張...58
1.4 ファイルコンパクトが利用するソフトウェアについて09	5.書庫エクスプローラの使い方60
1.5 書庫ファイルの配布権について ...11	5.1.書庫エクスプローラの機能概要 ...60
2.スマートナビの使い方12	5.2.書庫エクスプローラの画面説明 ...62
2.1.スマートナビの概要12	5.3 ファイルやフォルダを圧縮する ...65
2.2.スマートナビの起動12	5.4 書庫ファイルを解凍する69
2.3 スマートナビから各機能を起動する...13	5.5 書庫エクスプローラの設定73
2.4 サイドメニューから説明画面を呼び出す ...15	6.書庫内検索の使い方78
2.5 トップページから簡単圧縮・簡単解凍する15	6.1.書庫内検索の概要.....78
3.簡単圧縮・簡単解凍・圧縮メール	6.2.書庫内検索の画面.....79
・簡単分割・簡単自己解凍の使い方 17	6.3 書庫内検索の操作方法80
3.1.簡単圧縮17	6.4 検索条件の設定.....82
3.2.簡単解凍21	6.5 ファイル操作.....87
3.3 圧縮メール24	7.環境設定について91
3.4 簡単分割32	7.1.環境設定の概要.....91
3.5 簡単自己解凍34	7.2 [関連付け] タブ.....92
	7.3 [メニュー] タブ.....93
	7.4 [アイコン登録] タブ95
	7.5 [ツール] タブ.....96
	7.6 [情報] タブ97

1. ファイルコンパクトについて

1.1 ファイルコンパクトとは

ファイルコンパクトは、抜群の操作性と様々な書庫ファイル形式への対応を実現した圧縮・解凍ツールです。

ドラッグ&ドロップや右クリックで即座にファイルやフォルダを圧縮・解凍したり、書庫エクスプローラで書庫ファイルを扱えるようにしたりすることができます。

また、現在たくさんの書庫形式が存在しますが、ファイルコンパクトでは、よく利用される書庫形式のほとんどに対応しています。そのため、いろいろな圧縮・解凍ツールを書庫形式によって使い分ける必要がありません。ファイルコンパクトだけですべて対応できます。

1.2 ファイルコンパクトでできること

ファイルコンパクトでは、様々な形式の書庫ファイルをサポートする他、電子メールで頻繁に利用されている変換ファイルも複数の形式をサポートしています。

ファイルの圧縮・解凍

書庫ファイルとは、いくつかのファイルをまとめて1つのファイルにしたものです。フォルダを1つのファイルにまとめることもできます。多くの場合、それぞれのファイルは圧縮され、全体として書庫ファイルのサイズは小さくなります。

このような書庫ファイルを作成することを「圧縮」と呼び、元の複数のファイルへ戻すことを「解凍」と呼びます。書庫ファイルにはいくつかの形式があります。

複数のファイルを1つのファイルにまとめることができるため、関連性のあるファイルを一緒にまとめておくことで、必要なファイルが散乱するのを防ぐことができます。また、全体のファイルサイズを小さくすることもできるため、普段使わないファイルを圧縮してサイズを小さくし、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。さらに、インターネットやフロッピーディスクでファイルをやりとりするときに、短時間で処理することもできます。また、自己解凍形式書庫を作成することにより、ファイルコンパクトなどの圧縮・解凍ソフトがない環境でも解凍可能な書庫を作成できます。

ファイルコンパクトが対応する書庫ファイル形式は、AIZ形式、LZH形式、ZIP形式、CAB形式、TAR形式、TAR.BZ2形式、BZ2形式、TAR.Z形式、TAR.GZ形式、GZ形式、Z形式、001形式、RAR形式、ARJ形式、??_形式の15形式です。ただし、InstallShieldのZ形式は書庫内の閲覧のみ、001形式、TAR.Z形式、Z形式、RAR形式、ARJ形式、??_形式は解凍のみのサポートとなります。InstallShieldのCAB形式には対応していません。

注意

圧縮についてのご注意

ファイルを圧縮して書庫ファイルを作成する場合、圧縮するファイルの内容によって、圧縮率は変わります。書庫ファイル形式によっても圧縮率は変わります。

たとえば、MPEG 動画はすでに圧縮されているデータですので、ファイルコンパクトを使って圧縮してもファイルサイズはほとんど変わりません。また、後述の「ファイル形式の解説」で説明している書庫の最大サイズは理論上のものです。

実際には、利用している OS、メモリ容量、およびファイルシステムの種類により制限される場合があります。

ファイルの分割・結合

ファイルをフロッピーディスクや MO などの交換可能ディスクに保存する際、圧縮しても交換可能ディスクに入りきらない場合があります。また、メールにファイルを添付して送信する場合、メールサーバによっては添付ファイルのファイルサイズに制限がある場合があります。

そのような場合には、ファイルの分割機能を利用してください。分割されたファイルは、結合機能によって元のファイルに戻すことができます。

ファイルコンパクトは 1 つのファイルを分割するだけでなく、複数のファイルを選択してからまとめて分割することもできます。また、自己解凍形式にすることにより、結合ツールがない環境でも元のファイルに戻すことができます。

ファイルの変換・復元

データには大きくわけて、テキストデータとバイナリデータとがあります。テキストデータは入力された文字情報のみのデータ、バイナリデータは文字以外の画像データや、圧縮データなどのデータです。インターネットを利用する電子メールでは、テキストデータしか扱うことができません。インターネットのこのような制約に対応するために、テキスト以外のファイルを送信する方法が考案されました。それが「変換ファイル」です。

バイナリデータを送る場合は、一旦データを変換ファイルに変換してから送信します。送信先に届くのは、意味不明のテキストの羅列ですが、復元すれば、画像データは画像ファイルに、圧縮データは圧縮ファイルにすることができます。ファイルの変換と復元は、書庫ファイルと同様に、変換した形式と同じ形式で復元する必要があります。変換ファイルには変換する形式によっていくつかの種類があります。ファイルコンパクトが対応する変換ファイル形式は、UUEncode 形式、XXEncode 形式、MIME (Base64) 形式、BinHex 形式の 4 形式です。

通常はメールアプリケーションの機能により、自動的に所定の変換形式（通常は MIME 形式）でバイナリデータを変換して送信します。受信するときも、自動的にファイルを復元してバイナリデータに戻します。しかしながら、たとえば Macintosh でよく使われる BinHex 形式で送信されたメールを Windows のメールアプリケーションで受信すると、通常は BinHex 形式に対応していないため復元ができません。そのため、変換されたテキストデータのまま受信されます。このようなデータも、ファイルコンパクトの [ファイル復元] 機能を利用すると、バイナリデータに復元することができます。

1.3 ファイル形式の解説

◆AIZ 形式

エー・アイ・ソフトで開発した新しい書庫形式です。次のような特徴があります。

- ・高圧縮率を実現
- ・日本語ファイル名に対応
- ・暗号化に対応
- ・分割圧縮（マルチボリューム形式）対応
- ・書庫への追加圧縮に対応
- ・書庫内のファイルの更新に対応
- ・書庫内のファイルの削除に対応
- ・2GB 以上のファイルの格納に対応
- ・2100 年以降の更新日時に対応

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、格納できるファイル、および扱える書庫ファイルは 4GB までです。

◆LZH 形式

吉崎栄泰氏により開発された圧縮形式です。日本で最もよく使われています。圧縮形式を指定することができます。通常は [-lh5-] ですが、[高圧縮] を指定すると [-lh7-] になります。また、自己解凍形式を作成することもできます。作成できる自己解凍形式は、[Windows 用（簡易版・標準版）] [Windows3.1 用（簡易版・標準版）] [MS-DOS 用] の 5 種類です。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 2GB までです。

◆ZIP 形式

Windows、DOS で一般的に用いられる圧縮形式です。アメリカの PKWARE 社によって開発されたものです。海外で最もよく使われています。圧縮形式を指定することができます。通常は [Normal] ですが、[高圧縮] を指定すると [Maximum] になります。また、自己解凍形式の作成にも対応しています。作成できる自己解凍形式は、[Windows 用] [MS-DOS 用] の 2 種類です。分割圧縮（マルチボリューム形式の作成）にも対応しています。フロッピーディスクなどの交換可能なドライブに限定されますが、作成された書庫を複数のディスクに分割して格納することができます。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 4GB までです。

マルチボリューム形式の ZIP ファイルを交換可能ディスク上に作成するとき使用するディスクは、ご使用の環境でフォーマットしたことのあるディスクを利用してください。

◆CAB 形式

Microsoft 社の標準配布用の圧縮形式です。圧縮形式を指定することができます。通常は [MSZIP] ですが、[高圧縮] を指定すると [LZX21] になります。また、自己解凍形式および分割圧縮（マルチボリューム形式）に対応しています。

ただし、既存の書庫ファイルへの追加圧縮は行えません。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 4GB までです。また、作成後の書庫ファイルのサイズが 1GB よりも大きくなる場合、自動的に 1 個あたり 1GB のマルチボリューム形式に分割されます。

注意

セットアップ作成ソフト [InstallShield] が作成する SETUP 用のデータファイルの拡張子が CAB の場合がありますが、Microsoft 社の CAB 形式とは互換性はありません。

[InstallShield] の CAB 形式には対応していません。

補足

マルチボリューム形式の CAB ファイルを交換可能ディスク上から解凍しようとする、ディスクの入れ替えを頻繁に行わなければなりません。そこで、あらかじめ複数の交換可能ディスク上にある CAB ファイルを、すべてハードディスク上の1つのフォルダにコピーして、そこで解凍を行うようにすることをお勧めします。

マルチボリューム形式の CAB ファイルを交換可能ディスク上に作成するときに、使用するディスクはご使用の環境でフォーマットしたことのあるディスクを利用してください。

◆001 形式

「DiskXplorer」や「DiskX Tools Ver3.0 以前」などで作成された [マルチボリューム ZIP 形式] です。

ファイルコンパクトでは、解凍のみをサポートします。

◆RAR 形式

Eugene Roshal 氏が作成した書庫形式です。LZH や ZIP よりも圧縮率が高く、自己解凍書庫の作成もできます。

ファイルコンパクトでは解凍のみをサポートします。

◆ARJ 形式

Windows、DOS で用いられる圧縮形式です。海外で使われていた圧縮形式ですが、最近ではあまり使われなくなりました。

ファイルコンパクトでは解凍のみをサポートします。

◆TAR 形式

UNIX で一般的に用いられる圧縮形式です。TAR は [Tape Archive] の略です。複数のファイルを1つにまとめるのみで、圧縮は行いません。

[GZ 形式] [BZ2 形式] などの圧縮形式と組み合わせて利用されます。

ファイルの場合は [パス情報なし] または [絶対パス]、フォルダの場合は [絶対パス] でファイルが格納されます。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 1GB までです。

◆TAR.GZ 形式 (TGZ 形式)

UNIX で一般的に用いられる圧縮形式です。TAR 形式のファイルを GZ 形式で圧縮したファイルです。

ファイルの場合は [パス情報なし] または [絶対パス]、フォルダの場合は [絶対パス] でファイルが格納されます。

既存の書庫ファイルへの追加圧縮を行うことはできません。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 1GB までです。

◆TAR.Z 形式 (TAZ 形式)

UNIX で一般的に用いられる圧縮形式です。TAR 形式のファイルを Z 形式で圧縮したファイルです。拡張子.TAZ のファイルも TAR.Z 形式です。

ファイルコンパクトでは、解凍のみをサポートします。

◆TAR.BZ2 形式 (TBZ 形式)

UNIX で一般的に用いられる書庫形式です。TAR 形式のファイルを B Z 2 形式で圧縮したファイルです。拡張子.T B 2 のファイルも TAR.BZ2 形式です。[TAR.Z 形式] や [TAR.GZ 形式] に比べて高圧縮率の形式です。

ファイルの場合は [パス情報なし] または [絶対パス]、フォルダの場合は [絶対パス] でファイルが格納されます。

既存の書庫ファイルへの追加圧縮を行うことはできません。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

ただし、扱える書庫ファイルは 1GB までです。

◆GZ 形式

UNIX で一般的に用いられる圧縮形式です。gzip で作成されます。ファイルを複数扱うことはできません。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

◆Z 形式

UNIX で一般的に用いられる圧縮形式です。ファイルを複数扱うことはできません。

ファイルコンパクトでは解凍のみをサポートします。

注意

古い [InstallShield] が作成する SETUP 用のデータファイルの拡張子が Z 形式という場合がありますが、UNIX の Z 形式とは互換性はありません。

[InstallShield] の Z 形式の場合は、書庫内の閲覧のみできます。

◆BZ2 形式

UNIX で用いられる圧縮形式です。GZ 形式や Z 形式に比べて高圧縮率の形式です。ファイルを複数扱うことはできません。

ファイルコンパクトでは、圧縮・解凍の両方をサポートしています。

◆??_形式

Microsoft 社の配布用の圧縮形式です。Windows NT のセットアップファイルなどの圧縮に利用されています。たとえば、Readme.txt を圧縮すると、Readme.tx_ というファイルになるので、??_形式と呼びます。

ファイルコンパクトでは、解凍のみをサポートします。

注意

??_形式は、圧縮するファイルによって拡張子が無限にあるため、関連付けを行うことはできません。

◆UUE 形式

インターネットで使用されている変換形式です。UUEncode 形式とも呼ばれます。元々は、UNIX 環境でバイナリファイルをテキストファイルに変換するのに用いられていました。最近では、電子メールにファイルを添付する際にテキストファイルに変換する方式として利用されています。

ファイルコンパクトでは、変換・復元の両方をサポートしています。ただし、フォルダを指定して変換することはできません。

◆XXE 形式

インターネットで使用されている変換形式です。XXEncode 形式とも呼ばれます。元々は、UNIX 環境でバイナリファイルをテキストファイルに変換するのに用いられていました。最近では、電子メールにファイルを添付する際にテキストファイルに変換する方式として利用されています。

ファイルコンパクトでは、変換・復元の両方をサポートしています。ただし、フォルダを指定して変換することはできません。

◆B64 形式

インターネットで使用されている変換形式です。MIME (Base64) 形式とも呼ばれます。最近では、電子メールにファイルを添付する際にテキストファイルに変換する方式として利用されています。

ファイルコンパクトでは、変換・復元の両方をサポートしています。ただし、フォルダを指定して変換することはできません。

◆HQX 形式

インターネットで使用されている変換形式です。BinHex 形式とも呼ばれます。元々は、Macintosh 環境でバイナリファイルをテキストファイルに変換するのに用いられていました。最近では、電子メールにファイルを添付する際にテキストファイルに変換する方式として利用されています。

一部の Windows メールアプリケーションでは、BinHex 形式の復元に対応していないため、自動的に復元ができません。そのようなときでも、ファイルコンパクトで復元を行うことができます。

ファイルコンパクトでは、変換・復元の両方をサポートしています。ただし、フォルダを指定して変換することはできません。

◆DVF 形式

ファイルコンパクトの分割・結合機能で利用される分割形式です。1つのファイルが無圧縮で分割する際に利用します。ファイルコンパクトでは、分割・結合の両方をサポートしています。

分割可能なファイルサイズは 4GB まで、また最大分割単位は 4GB です。

ファイルコンパクトでは、複数のファイルを分割したり、フォルダを指定して分割したりすることはできません。

1.4 ファイルコンパクトが利用するソフトウェアについて

ファイルコンパクトが対応する書庫ファイル形式のうち、LZH、ARJ、RAR、TAR、TAZ、TB2、BZ2、TGZ、GZ、Z形式では、フリーソフトウェアを利用します。

◆LZH形式

UNLHA32.DLL を利用します。これはファイルコンパクトに付属しています。UNLHA32.DLL は、吉崎栄泰氏が開発したユーティリティ LHA.EXE を、Micco氏がDLL化したものです。また、UNLHA32.DLLのWindows版およびNT版自己解凍ルーチンについては、mH（広山雅明）氏が著作権を保有しています。

◆ARJ形式

UNARJ32J.DLL を利用します。これはファイルコンパクトに付属しています。UNARJ32J.DLL は、Robert K Jung氏が開発したARJ.EXEの解凍機能をMicco氏がDLL化したものです。

◆RAR形式

UNRAR.DLL を利用します。これはファイルコンパクトに付属しています。UNRAR.DLL は、Eugene Roshal氏が作成したものです。

◆TAR、Z、GZ、TAZ、TGZ、TB2、BZ2、形式

DXBZIP2.DLL を利用します。これはファイルコンパクトに付属しています。また、DXBZIP2.DLL はフリーソフトウェア（GNU Public License-GPL）に従っています。

InstallShieldのZ形式は閲覧のみ、TAZ形式、Z形式は、解凍のみのサポートとなります。

◆ソフトウェアの入手先

UNLHA32.DLL、DXBZIP2.DLL、UNARJ32J.DLL、UNRAR.DLL はフリーソフトウェアです。インターネットから最新版を入手する場合、下記のホームページにアクセスしてください。

補足

ファイルコンパクトをセットアップすると、これらのファイルは自動的にインストールされますので、通常、別途ファイルを入手する必要はありません。

注意

なお、入手方法についてはサポートいたしません。

UNLHA32.DLL

Common Archivers Library Project 統合アーカイバ・プロジェクトのホームページ

<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>

DXBZIP2.DLL

ソースネクストのホームページ

<http://sourcnext.force.com/faq50search/faq?id=UT-28755>

UNARJ32J.DLL

Common Archivers Library Project 統合アーカイバ・プロジェクトのホームページ

<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>

UNRAR.DLL

RARLAB のホームページ

<http://www.rarsoft.com/> (英語)

<http://www.diana.dti.ne.jp/~winrar/> (日本語)

◆著作権について

ソフトウェアは、各作成者および移植者が著作権を保持しています。また、フリーソフトウェアではありますが、配布等に制限がある場合があります。DLL の使用によって生じた損害等についても、原著作者、作者、ソースネクストとも一切責任を負う義務がないものとなります。ソースネクストでは、この DLL について、可能な範囲でサポートいたしますが、フリーソフトウェアという性質上、制限がある場合もあります。

“File Compact” incorporates compression code from the Info-ZIP group. There are no extra charges or costs due to the use of this code, and the original compression sources are freely available from <http://www.cdrom.com/pub/infozip/> or <ftp://ftp.cdrom.com/pub/infozip> on the Internet.

以上の DLL のファイルコンパクトでの利用、ならびにバンドルを快く許可してくださった各作者および移植者の方々に深く感謝いたします。

1.5 書庫ファイルの配布権について

ファイルコンパクトを使って作成した書庫ファイルは、電子メールやユーザーのホームページ上などで自由に配布することができます。

この場合、相手が圧縮・解凍ソフトを持ち合わせていないことも考えられますので、実行するだけで自動的に解凍を行う「自己解凍形式」にして配布することをおすすめします。

2.スマートナビの使い方

2.1.スマートナビの概要

スマートナビは、圧縮・解凍などの基本操作をワンタッチで呼び出すことのできるツールバーをそなえています。

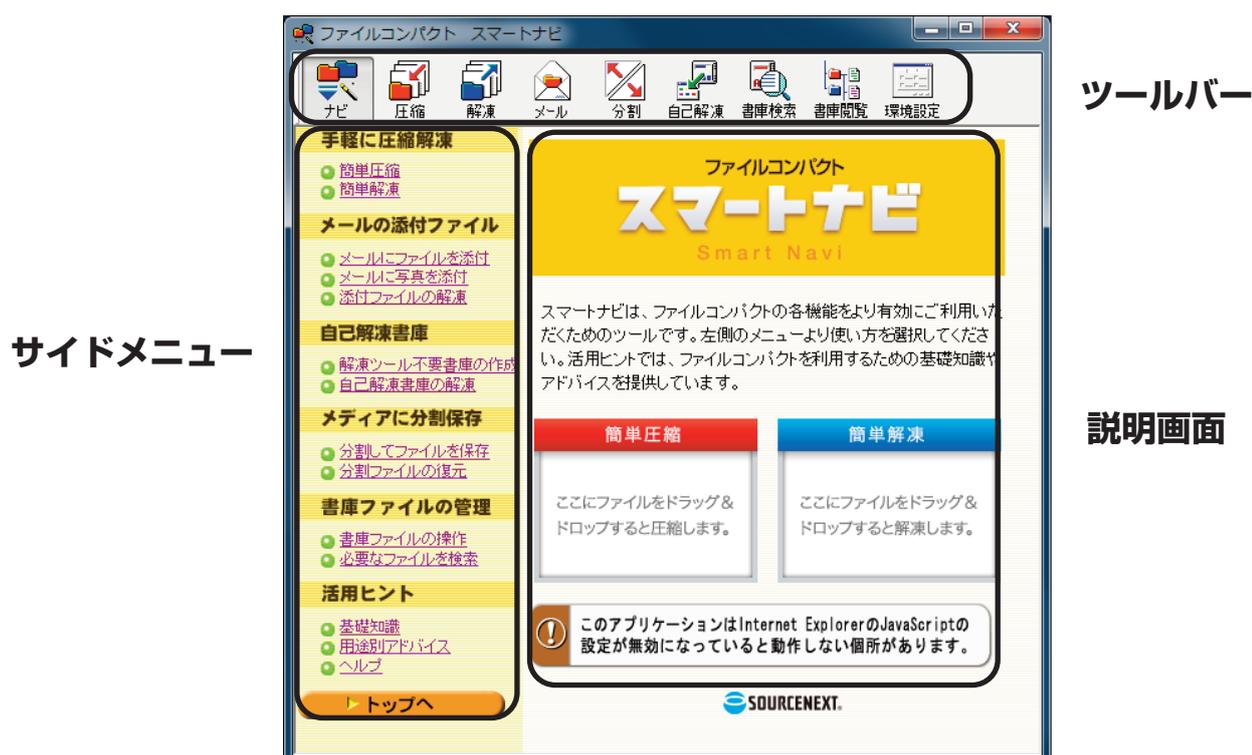
また、説明画面（チュートリアル）が用意されており、チュートリアルを見ながら利用することで各機能の基本操作を学ぶことができます。

2.2.スマートナビの起動

ここでは、スマートナビの起動方法について説明します。

スマートナビを起動するには、[スタート] ボタンをクリックして [すべてのプログラム] - [SOURCENEXT] - [ファイルコンパクト] の順にポイントし、[ファイルコンパクト] をクリックします。

スマートナビを起動すると、スマートナビのトップページが表示されます。



スマートナビのトップページでは、簡単圧縮と簡単解凍を行うことができます。

2.3 スマートナビから各機能を起動する

ここでは、スマートナビからファイルコンパクトの各機能を起動する方法を説明します。

◆簡単圧縮

スマートナビのツールバーの [圧縮] をクリックすると、簡単圧縮ウィンドウが表示されます。

簡単圧縮の操作については、スマートナビの説明画面または『4.1 簡単圧縮』を参照してください。

◆簡単解凍

スマートナビのツールバーの [解凍] をクリックすると、簡単解凍ウィンドウが表示されます。

簡単解凍の操作については、スマートナビの説明画面または『4.2 簡単解凍』を参照してください。

◆圧縮メール

スマートナビのツールバーの [メール] をクリックすると、圧縮メールウィンドウが表示されます。

圧縮メールの操作については、スマートナビの説明画面または『4.3 圧縮メール』を参照してください。

◆簡単分割

スマートナビのツールバーの [分割] をクリックすると、簡単分割ウィンドウが表示されます。

分割の操作の詳細については、スマートナビの説明画面または『5.2 右クリックメニューの拡張』の『分割』を参照してください。

◆自己解凍

スマートナビのツールバーの [自己解凍] をクリックすると、自己解凍ウィンドウが表示されます。

自己解凍の操作については、スマートナビの説明画面または『4.5 簡単自己解凍』を参照してください。

42

◆書庫内検索

スマートナビのツールバーの [書庫検索] をクリックすると、書庫内検索が起
動します。

書庫内検索の操作については、スマートナビの説明画面または『7章 書庫内検索の使い方』を参照してください。

◆書庫閲覧

スマートナビのツールバーの[書庫閲覧]をクリックすると、書庫エクスペローラが起動します。

書庫エクスペローラの操作については、スマートナビの説明画面または『6章 書庫エクスペローラの使い方』を参照してください。

◆環境設定

スマートナビのツールバーの[環境設定]をクリックすると、環境設定画面が

表示されます。

環境設定の詳細については、スマートナビの説明画面または『8章 環境設定について』を参照してください。

◆アップデート

スマートナビのツールバーの[アップデート]をクリックすると、自動アップデート

画面が表示されます。

自動アップデートの詳細については、『2.2 プログラムをアップデートする』を参照してください。

◆ナビ

スマートナビの説明画面が表示されている状態で、ツールバーのをクリックすると、説明画面の表示/非表示を切り替えることができます。

2.4 サイドメニューから説明画面を呼び出す

スマートナビのサイドメニューから、ファイルコンパクトの各機能の使用方法や、ファイルコンパクトをご利用になる上でのアドバイスなどを呼び出すことができます。

サイドメニューのリストから、ご覧になりたい機能の使用方法やアドバイスなどをクリックしてください。説明画面に使用方法やアドバイスが表示されます。

スマートナビのトップページに戻りたい場合は、サイドメニューの最下段の[トップへ]をクリックしてください。

2.5 トップページから簡単圧縮・簡単解凍する

トップページから簡単圧縮または簡単解凍する方法を説明します。

説明画面が表示されていない場合は、ツールバーの[ナビ]をクリックして説明画面を表示させてください。

◆簡単圧縮の場合

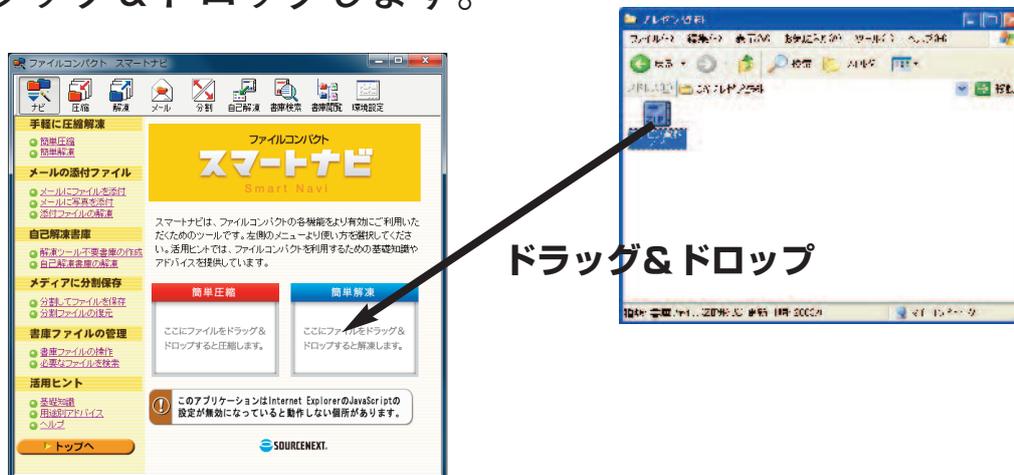
1.簡単圧縮したいファイルやフォルダをマイコンピュータやエクスプローラで表示します。

2.説明画面の簡単圧縮の画像上に、簡単圧縮したいファイルやフォルダをドラッグ&ドロップします。圧縮を行ったファイルやフォルダと同じフォルダに書庫ファイルが作成されます。



◆簡単解凍の場合

- 1.簡単解凍したいファイルをマイコンピュータやエクスプローラで表示します。
- 2.説明画面の簡単解凍の画像上に、簡単解凍したいファイルをドラッグ&ドロップします。



書庫ファイルがあったフォルダに、書庫ファイルと同じ名前のフォルダが作成されます。

作成されたフォルダには、解凍されたファイルやフォルダが保存されます。
なお、書庫フォルダは解凍した後も元の場所に戻ります。

3. 簡単圧縮・簡単解凍・圧縮メール ・簡単分割・簡単自己解凍の使い方

3.1. 簡単圧縮

簡単圧縮は、ドラッグ&ドロップ操作で簡単に書庫ファイルを作成するツールです。[簡単圧縮] アイコンや [簡単圧縮] ウィンドウへドラッグ&ドロップするだけで、簡単にファイルを圧縮することができます。また、ドラッグ&ドロップの他にも、右クリックメニューの「簡単圧縮」で同様に圧縮することができます。

さらに、スマートナビのトップページでも簡単圧縮を行うことができます。

ファイルやフォルダを簡単圧縮する

初期設定でファイルやフォルダを簡単圧縮する方法を説明します。なお、デスクトップに簡単圧縮のアイコンがない場合には、『8.4 [アイコン登録] タブ』をご覧ください。

1. 圧縮するファイルやフォルダを選択し、デスクトップ上の [簡単圧縮] アイコンへドラッグ&ドロップします。

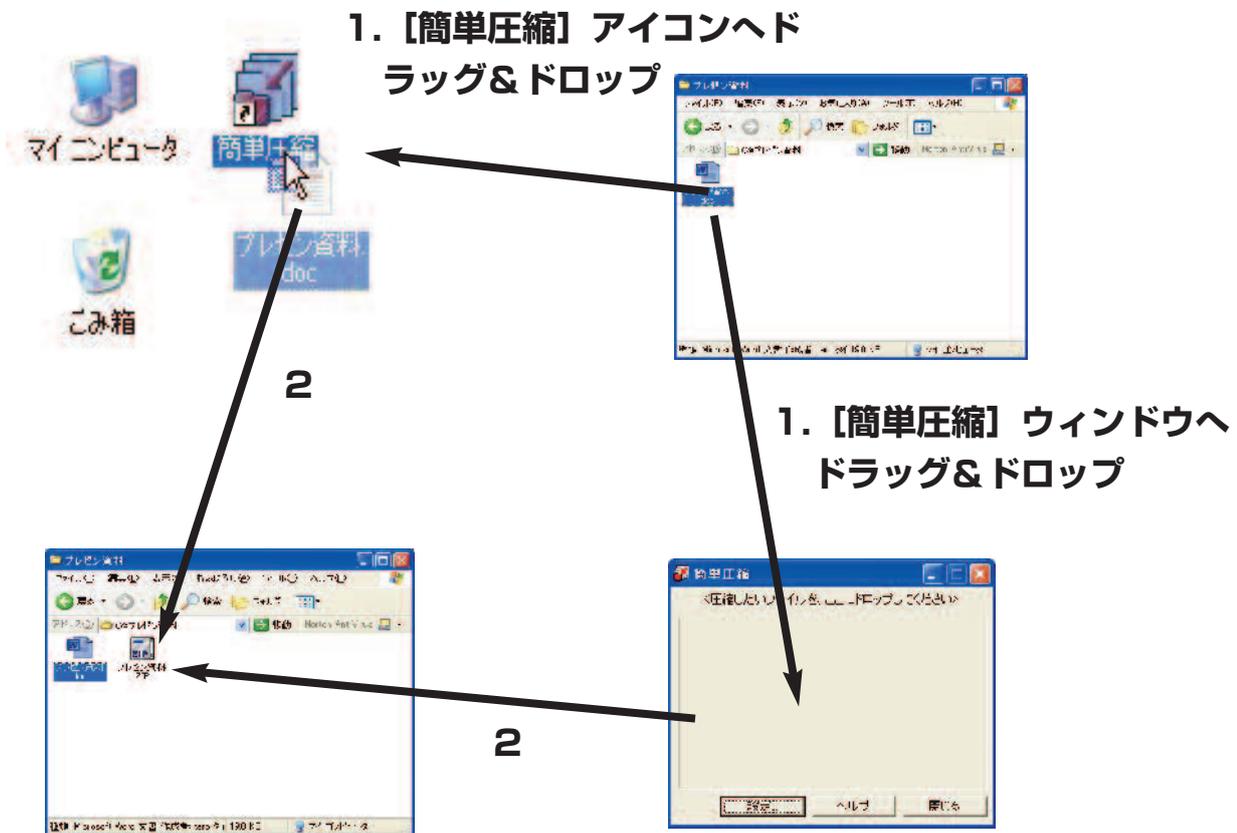
複数のファイルを1つの書庫に格納するには、複数のファイルを選択した後、ドラッグ&ドロップします。なお、一度に多数のファイルを圧縮する場合には、デスクトップ上の [簡単圧縮] アイコンをダブルクリックし、表示される [簡単圧縮] ウィンドウにドラッグ&ドロップします。

補足

複数のファイルを一度に選択するには、Shift キーを押しながら選択するか、Ctrl キーを押しながら選択したいファイルを1つずつクリックしてください。詳しくは Windows のマニュアルなどを参照してください。

.....
2. 圧縮するファイルやフォルダがあったフォルダに、書庫ファイルが作成されます。

書庫ファイル名は、ドラッグ&ドロップしたファイルやフォルダに付けられ書庫ファイルを作成するフォルダ、作成される書庫の形式などを変更できます。



簡単圧縮の設定を変更する

書庫ファイルを作成するフォルダ、作成される書庫の形式などを変更できます。

.....
1. デスクトップ上の [簡単圧縮] アイコンをダブルクリックします。

.....

2. [設定] をクリックします。

[簡単圧縮の設定] ダイアログが表示されます。

.....

3 [簡単圧縮の設定] の項目を設定し、[OK] をクリックします。

●圧縮先フォルダ

書庫ファイルを格納する場所を指定します。5種類の中から選択します。[指定したフォルダ] を選択すると、フォルダを入力するフィールドが表示されるので、任意のフォルダを指定できます。フォルダ名の右側の [...] をクリックします。初期設定では、「対象フォルダと同じフォルダ」が選択されています。[圧縮後に表示する] チェックボックスをチェックすると、圧縮が終了した後、圧縮先のフォルダが表示されます。どこに書庫ファイルが作成されても、作成された書庫ファイルをすぐに利用することができるようになります。

●オプション

簡単圧縮で使用する書庫形式を選択します。AIZ 形式、LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式のいずれで圧縮するかを選択します。初期設定は ZIP 形式です。

48

3.2. 簡単解凍

簡単解凍は、ドラッグ&ドロップ操作で簡単に書庫ファイルを解凍するツールです。[簡単解凍] アイコンや [簡単解凍] ウィンドウへ書庫ファイルをドラッグ&ドロップするだけで、簡単に書庫ファイルを解凍することができます。また、ドラッグ&ドロップの他にも、右クリックメニューの [簡単解凍] で同様に解凍することができます。

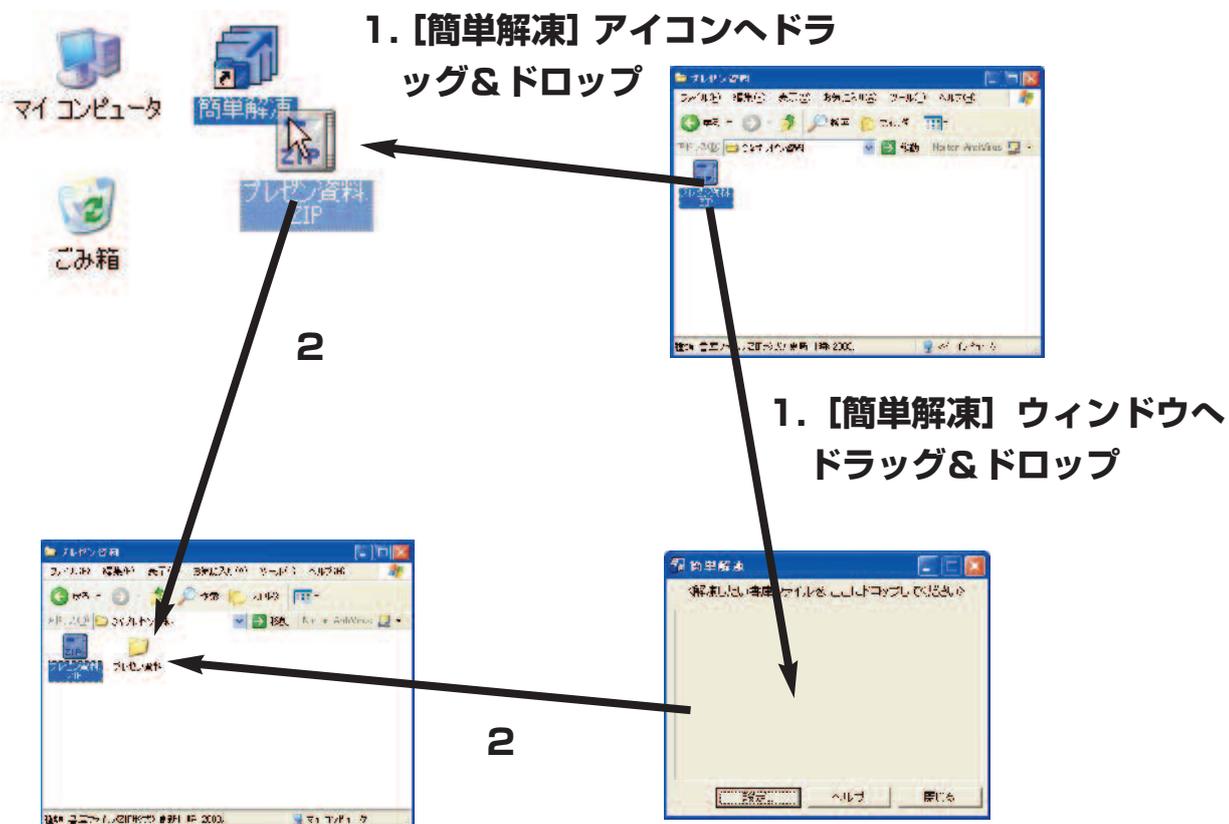
書庫ファイルを簡単解凍する

初期設定でファイルを簡単解凍する方法を説明します。なお、デスクトップに簡単解凍のアイコンがない場合には『8.4 [アイコン登録] タブ』をご覧ください。

1. 解凍する書庫ファイルを選択し、デスクトップ上の [簡単解凍] アイコンへドラッグ&ドロップします。

2. 対象ファイルと同じフォルダに、書庫ファイル名を元に作成されたフォルダが作成されます。

作成されたフォルダの中に解凍されます。



補足

メールに添付されているファイルやインターネットからダウンロードしたファイルは、いったんデスクトップなどに保存してから解凍してください。

簡単解凍の設定を変更する

書庫ファイルを解凍するフォルダなどを変更することができます。

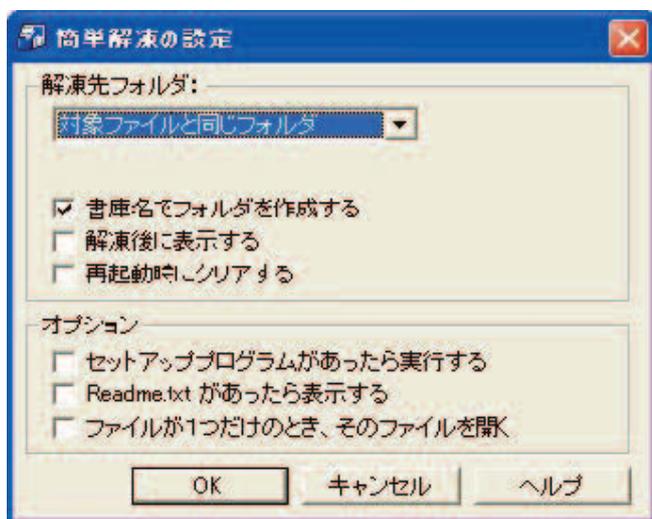
1. デスクトップ上の [簡単解凍] アイコンをダブルクリックします。

[簡単解凍] ウィンドウが表示されます。

2. [設定] をクリックします。

[簡単解凍の設定] ダイアログが表示されます。

3. [簡単解凍の設定] の項目を設定し、[OK] をクリックします。



● 解凍先フォルダ

書庫ファイルの解凍先を指定します。6種類の中から選択します。

[指定したフォルダ] を選択すると、フォルダを入力するフィールドが表示されますので、任意のフォルダを指定できます。フォルダ名の右側の [...] をクリックすると、既存のフォルダから選択することができます。初期設定では、「対象ファイルと同じフォルダ」が選択されています。

書庫名でフォルダを作成する

チェックボックスをチェックすると、解凍を行うときに、書庫ファイル名でフォルダを作成し、その中に書庫を解凍します。簡単解凍を多用しているうちに [解凍先フォルダ] が煩雑になるのを防ぎます。

解凍後に表示する

チェックボックスをチェックすると、書庫ファイルを解凍した後、書庫ファイルの解凍先フォルダを開きます。どこに書庫ファイルが解凍されても、解凍されたファイルをすぐに利用することができるようになります。

再起動時にクリアする

簡単解凍を行ったときに作成されるフォルダを、Windows の再起動時に削除します。

●オプション

書庫ファイルを解凍した後の動作を設定します。

セットアッププログラムがあったら実行する

チェックボックスをチェックすると、書庫ファイル内に [SETUP.EXE] [INST.EXE] [INSTALL.EXE] というインストール用の実行ファイルが存在する場合、書庫ファイルの解凍後、自動的にインストールを実行します。フリーソフトなどの書庫ファイルを解凍するときに便利です。

Readme.txt があったら表示する

チェックボックスをチェックすると、書庫ファイル内に [Readme.txt] が存在する場合、書庫ファイルの解凍後、自動的に表示します。フリーソフトなどの書庫ファイルを解凍するときに便利です。

ファイルが1つだけのとき、そのファイルを開く

チェックボックスをチェックすると、書庫ファイル内のファイル数が1つだけの場合、書庫ファイルの解凍後、自動的に開きます。

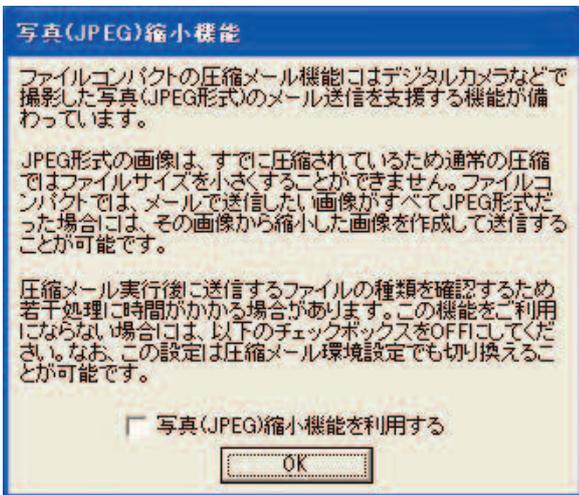
注意

これらのオプションを利用する際には、コンピュータウイルスに気をつけてください。

3.3 圧縮メール

圧縮メールは、メールに添付したいファイルを圧縮して、すでに新規メールに添付した状態でメールアプリケーションを起動することができるツールです。[圧縮メール] ウィンドウや [圧縮メール] アイコンへファイルをドラッグ&ドロップして、簡単に圧縮メールを作成することができます。また、ドラッグ&ドロップの他にも、右クリックメニューの [圧縮メール] で同様に圧縮メールを作成することができます。JPEG ファイルの場合、すでに圧縮されたデータのため圧縮してもファイルサイズはほとんど変わりません。ファイルコンパクトの写真 (JPEG) 縮小機能を使うと、画像のサイズを縮小することでファイルのサイズを小さくすることができます。

最初に圧縮メールをお使いになるときに、以下の画面が表示されます。画面上の説明をお読みの上で、写真 (JPEG) 縮小機能をご利用になる場合はチェックボックスをチェックして [OK] をクリックしてください。



補足

なお、この設定は後述の [圧縮メールの設定] ダイアログでも可能です。書庫では、書庫ファイルを添付したメールのことを「圧縮メール」と呼びます。

メールにファイルを添付する

圧縮メールを作成する方法を説明します。なお、デスクトップに圧縮メールのアイコンがない場合には『8.4 [アイコン登録] タブ』をご覧ください。JPEG ファイルを縮小して添付する場合は「メールに写真を添付する」をご覧ください。

1. デスクトップ上の [圧縮メール] アイコンをダブルクリックします。

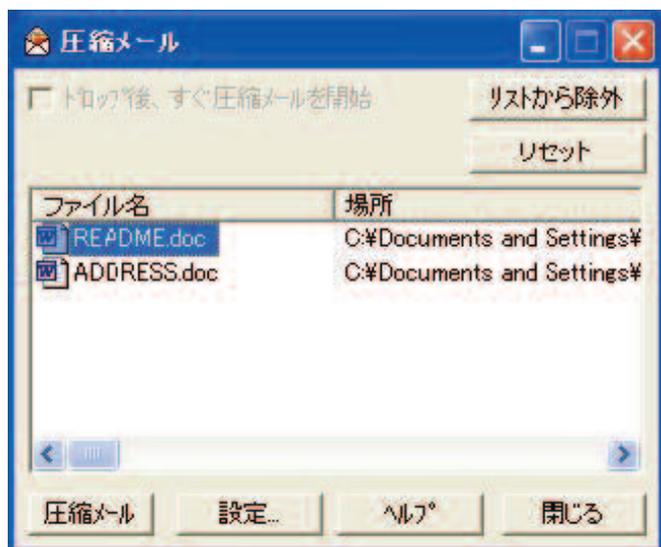
[圧縮メール] ウィンドウが表示されます。

2. マイコンピュータやエクスプローラで添付するファイルを選択し、[圧縮メール] ウィンドウへドラッグ&ドロップします。複数のファイルを添付するには、複数のファイルを選択した後、ドラッグ&ドロップします。

補足

複数のファイルを一度に選択するには、Shift キーを押しながら選択するか、Ctrl キーを押しながら選択したいファイルを1つずつクリックしてください。詳しくは Windows のマニュアルなどを参照してください。

3. [圧縮メール] をクリックします。



もし、圧縮対象から外したいファイルがある場合は、該当ファイルを選択して [リストから除外] をクリックします。一度にすべてのファイルを対象から外す場合は、[リセット] をクリックします。

新規メールを作成する状態で、メールアプリケーションが起動されま
す。ドロップしたファイルは書庫ファイルとして添付されています。

補足

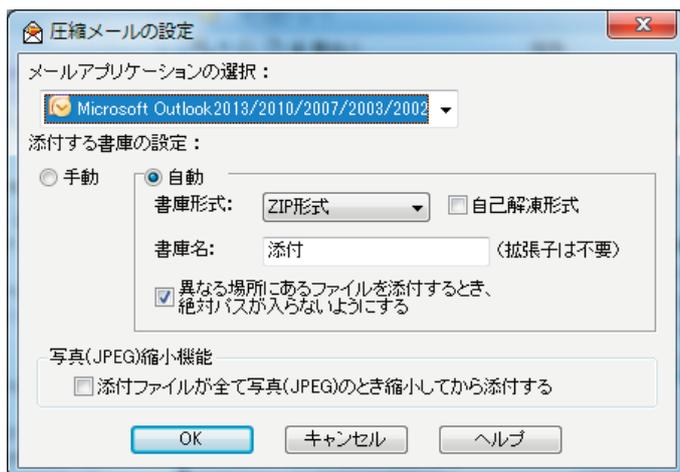
[ドロップ後、すぐ圧縮メールを開始] チェックボックスをチェックしてお
くと、手順3をスキップすることができます。[ドロップ後、すぐ圧縮メー
ルを開始] は、リストが空のとき選択できます。

補足

デスクトップ上の [圧縮メール] アイコンへ添付するファイルを直接ドラ
ッグ&ドロップすることで圧縮メールを作成することもできます。その場
合、[圧縮メール] ウィンドウは表示されません。

補足

最初に圧縮メールをお使いになるときなどに、圧縮メールの設定がされて
いない場合には、処理の途中で以下のようなダイアログが表示されます。
圧縮メールについての設定を行い、[OK] をクリックしてください。ダイ
アログの詳細については後述の「圧縮メールの設定を変更する」をご覧く
ださい。



メールに写真を添付する

写真（JPEG ファイル）の画像サイズを縮小してメールに添付する方法を説明します。

注意

写真（JPEG）縮小機能をご利用できるのは、添付するファイルがすべて JPEG ファイルの場合のみです。

注意

写真（JPEG）のサイズを縮小してメールに添付する場合、縮小された画像データは、受信側でサイズを拡大する（元のサイズに戻す）ことはできません。

1. デスクトップ上の [圧縮メール] アイコンをダブルクリックします。

[圧縮メール] ウィンドウが表示されます。

2. マイコンピュータやエクスプローラで添付する JPEG ファイルを選択し、[圧縮メール] ウィンドウへドラッグ&ドロップします。

複数の JPEG ファイルを添付するには、複数の JPEG ファイルを選択した後、ドラッグ&ドロップします。

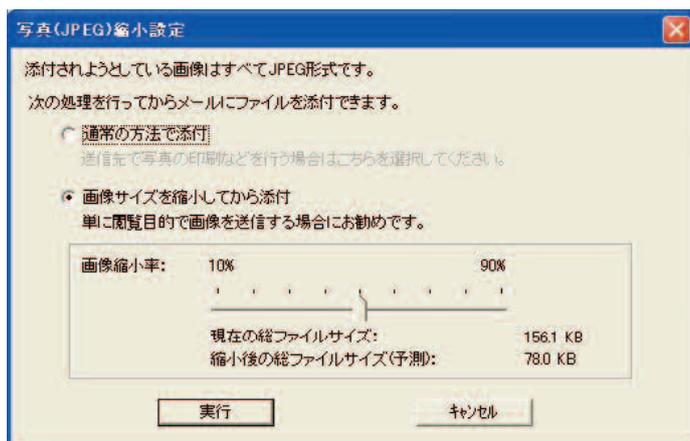
3. [圧縮メール] をクリックします。



もし、圧縮対象から外したい JPEG ファイルがある場合は、該当 JPEG ファイルを選択して [リストから除外] をクリックします。一度にすべての JPEG ファイルを対象から外す場合は、[リセット] をクリックします。

[写真 (JPEG) 縮小設定] ダイアログが表示されます。

4.縮小についての設定を行い、[実行] をクリックします。



●通常の方法で添付

写真を縮小せずにメールを添付する場合に選択します。送信先で写真の印刷などをする場合にお勧めです。

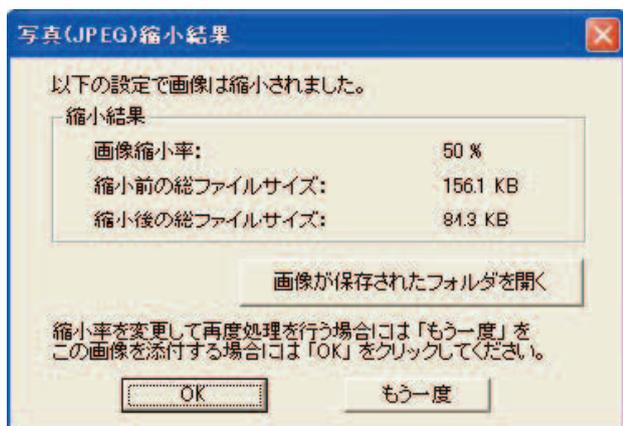
●画像サイズを縮小してから添付

写真を縮小してメールに添付する場合に選択します。閲覧のためだけに送信する場合にお勧めです。スライダーを使って画像縮小率を変更できます。

補足

縮小後の総ファイルサイズが表示されますが、この値は予測値であり、実際の縮小後のサイズと異なる場合があります。[写真 (JPEG) 縮小結果] ダイアログが表示されます。

5.表示された縮小結果でよければ、[OK] をクリックします。



新規メールを作成する状態で、メールアプリケーションが起動されます。ドロップしたファイルは書庫ファイルとして添付されています。

補足

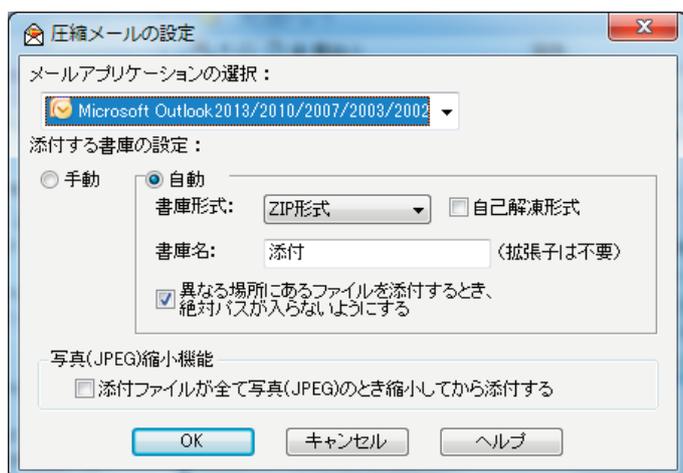
[写真 (JPEG) 縮小結果] 画面で、[もう一度] をクリックすると、縮小設定からやり直すことができます。縮小率を変更したい場合にご利用ください。

補足

デスクトップ上の [圧縮メール] アイコンへ添付する JPEG ファイルを直接ドラッグ&ドロップすることで圧縮メールを作成することもできます。その場合、[圧縮メール] ウィンドウは表示されません。

補足

最初に圧縮メールをお使いになるときなどに、圧縮メールの設定がされていない場合には、処理の途中で以下のようなダイアログが表示されます。圧縮メールについての設定を行い、[OK] をクリックしてください。ダイアログの詳細については後述の「圧縮メールの設定を変更する」をご覧ください。



圧縮メールの設定を変更する

圧縮メールから起動するメールアプリケーションの設定、添付する書庫の形式を変更できます。

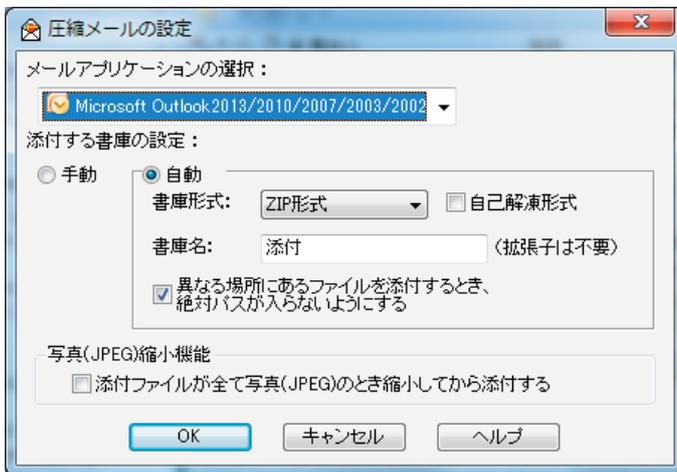
1. デスクトップ上の [圧縮メール] アイコンをダブルクリックします。

[圧縮メール] ウィンドウが表示されます。

2. [設定] をクリックします。

[圧縮メールの設定] ダイアログが表示されます。

3. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。



●メールアプリケーションの選択

使用するメールアプリケーションを選択します。圧縮メールが対応しているアプリケーションが一覧表示されます。お使いのコンピュータで使用できるアプリケーションには、名称の左側にアイコンが表示されます。アイコンの表示されているものの中から選択してください。

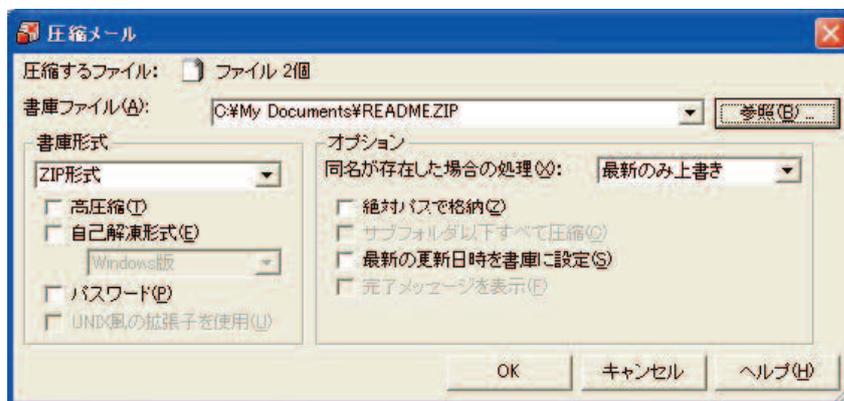
●添付する書庫の設定

添付する書庫ファイルの作成方法を選択します。

手動

手動を選択すると、圧縮メールを作成するとき、次のダイアログが表示されます。

ここでは、圧縮の詳細を設定することができます。書庫形式は、LZH、ZIP 以外にも選択でき、ZIP 形式ではパスワードを設定できます。添付ファイルを圧縮するたびに、書庫ファイルの形式やファイル名を変更するような場合に利用してください。



自動

自動を選択すると、圧縮メールを作成する時、あらかじめ設定しておいた設定内容で「ファイルの圧縮→メールアプリケーションの起動→新規メールへの書庫ファイルの添付」を自動的に行います。

ファイルの圧縮は、以下の設定に従って行います。

書庫形式

圧縮メールで使用する書庫形式を選択します。AIZ 形式、LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式のいずれの形式で圧縮するかを選択します。初期設定は ZIP 形式です。

[自己解凍形式] チェックボックスをチェックすると、自己解凍形式の書庫ファイルを作成して添付します。自己解凍形式の書庫は解凍ツールがインストールされていないコンピュータに送信しても、解凍ツールなしで簡単にファイルを展開することができます。

注意

一部のメールアプリケーションでは、自己解凍形式の書庫ファイルをウィルスの危険があるとして、受信できない場合があります。このような場合には送信先の設定を変更するか、解凍可能な圧縮形式を選択するようにしてください。

書庫名

メールに添付する書庫ファイル名は圧縮するファイルと同じ名前になります。しかし、複数のファイルを添付する場合、ここに指定した名前で書庫ファイルを添付します。

異なる場所にあるファイルを添付するとき、絶対パスが入らないようにする。

添付ファイルを解凍するときに絶対パスが入らないようにします。

●写真（JPEG）縮小機能

チェックボックスをチェックすると、[圧縮メール] ウィンドウや [圧縮メール] アイコンへドロップされたファイルがすべて JPEG 形式の場合に、画像のサイズを縮小して添付することが可能となります。チェックが外されている場合には、写真（JPEG）縮小機能はご利用になれません。

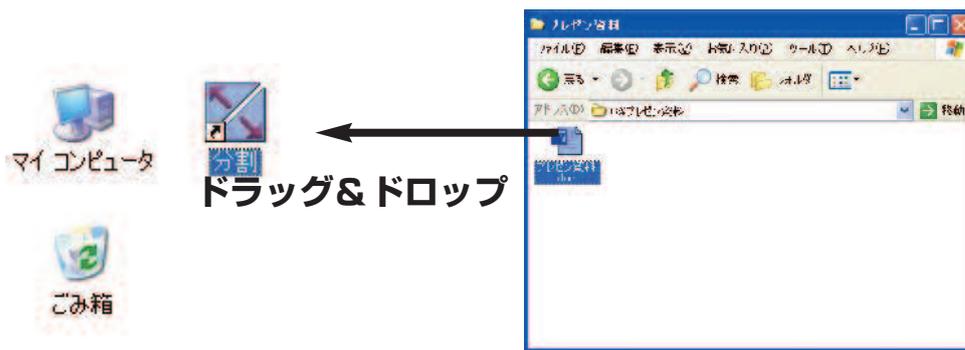
3.4 簡単分割

簡単分割は、ドラッグ&ドロップ操作で簡単にファイルを分割するツールです。[分割] アイコンや [簡単分割] ウィンドウへファイルをドラッグ&ドロップするだけで、簡単にファイルを分割することができます。また、ドラッグ&ドロップの他にも、右クリックメニューの「分割」で同様に分割することができます。

ファイルを分割する

初期設定でファイルを分割する方法を説明します。なお、デスクトップに分割のアイコンがない場合には『8.4 [アイコン登録] タブ』をご覧ください。

1.分割するファイルを選択し、デスクトップ上の [分割] アイコンへドラッグ&ドロップします。



複数のファイルを1つのファイルにまとめてから分割するには、一度に複数のファイルを選択してからドラッグ&ドロップします。なお、一度に多数の分割処理を行う場合には、デスクトップ上の [分割] アイコンをダブルクリックし、表示される [簡単分割] ウィンドウへドラッグ&ドロップします。



[分割] ダイアログが表示されます。

2. [分割] ダイアログで設定を行い、[OK] をクリックします。



[分割] ダイアログでの設定の詳細は、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『分割』をご覧ください。

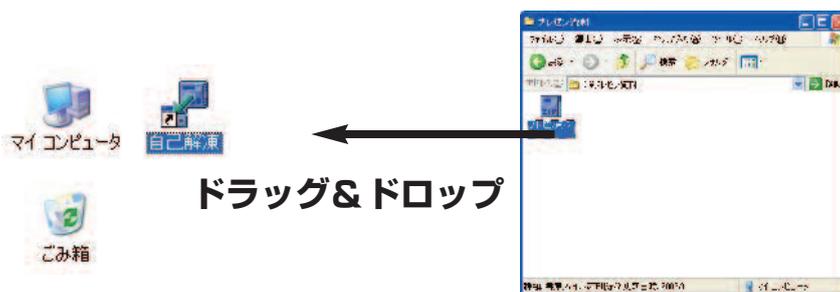
3.5 簡単自己解凍

簡単自己解凍は、ドラッグ&ドロップ操作で簡単に書庫ファイルを自己解凍形式の書庫に変換するツールです。[自己解凍] アイコンや [自己解凍] ウィンドウへ書庫ファイルをドラッグ&ドロップするだけで、簡単に自己解凍形式に変換することができます。なお、詳細なオプションを指定して自己解凍書庫に変換したい場合は『5.2 右クリックメニューの拡張』の『自己解凍の作成』をご覧ください。

書庫ファイルを自己解凍形式に変換する

初期設定で書庫ファイルを自己解凍形式に変換する方法を説明します。なお、デスクトップに自己解凍のアイコンがない場合には『8.4 [アイコン登録] タブ』をご覧ください。

1. 自己解凍形式に変換したい書庫ファイルを選択し、デスクトップ上の [自己解凍] アイコンへドラッグ&ドロップします。



変換できるのは LZH、ZIP、CAB の 3 形式です。複数の書庫を同時に変換できません。なお、デスクトップ上の [自己解凍] アイコンをダブルクリックし、表示される [自己解凍] ウィンドウにドラッグ&ドロップしても変換できます。



2. ドロップした書庫ファイルが、同じ場所で自己解凍形式に変換されます。

4. エクスプローラの機能拡張する

4.1. エクスプローラ拡張の概要

エクスプローラ拡張は、Windows エクスプローラでのファイル操作をより便利にするために、Windows エクスプローラを拡張する機能です。右クリックメニュー、ドラッグ&ドロップメニューに、圧縮・解凍に関する機能を追加します。エクスプローラ拡張を設定すると、右クリック時に表示されるメニュー項目の左側に「FC マーク」が表示されます。したがって、どの項目がエクスプローラ拡張のものか、一目で確認できます。

エクスプローラ拡張の設定は、すべて環境設定で行います。環境設定の詳細については、8章をご覧ください。

補足

機能が拡張されるのは「ファイル」と「フォルダ」に対する操作を行っている場合のみとなります。「ごみ箱」などの特殊なフォルダ（通常のフォルダとは表示する内容が異なるフォルダ）に対しての拡張は行いません。

4.2.右クリックメニューの拡張

エクスプローラに表示されているファイルやフォルダのアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、右クリックメニューが表示されます。

エクスプローラ拡張では、この右クリックメニューに次の10個のメニュー項目を追加します。ファイルを右クリックするだけで圧縮や解凍を行うことができます。

機能を拡張すると、右クリックメニューと同様にエクスプローラのファイルメニューにも拡張が反映されます。



圧縮	書庫ファイルを作成します。
解凍	書庫ファイルを解凍します。
自己解凍の作成	書庫ファイルを自己解凍形式に変換します。
書庫の診断	書庫ファイルが壊れていないか調査します。
簡単圧縮	選択したファイルやフォルダを簡単圧縮します。
圧縮メール	ファイルを圧縮し、そのファイルを新規メールに添付した状態でメールアプリケーションを起動します。
ファイル変換	バイナリファイルをテキストファイルに変換します。
ファイル復元	変換されたテキストファイルを元のバイナリファイルに復元します。分割1つのファイルを複数のファイルに分割します。
結合	分割された複数のファイルを元のファイルに結合します。

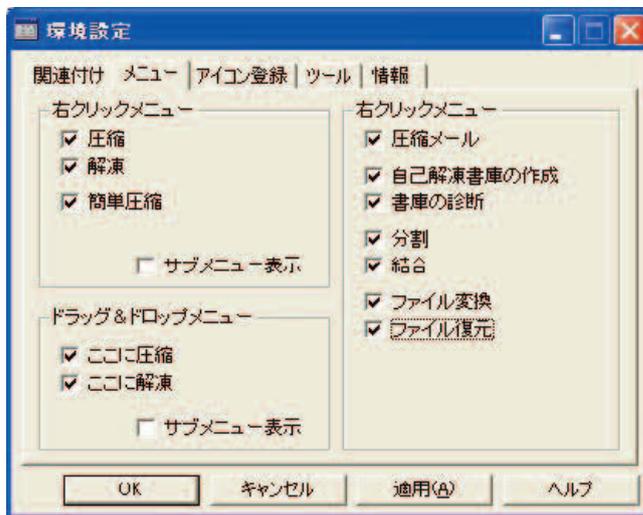
これらのメニューを選択するための操作方法はいずれも次の手順になります。

.....
1.ファイルやフォルダを選択して反転表示させ、マウスの右ボタンをクリックします。

.....
2.表示される右クリックメニューから必要に応じてコマンドを選択します。

次に、それぞれのメニュー項目の詳細について説明します。

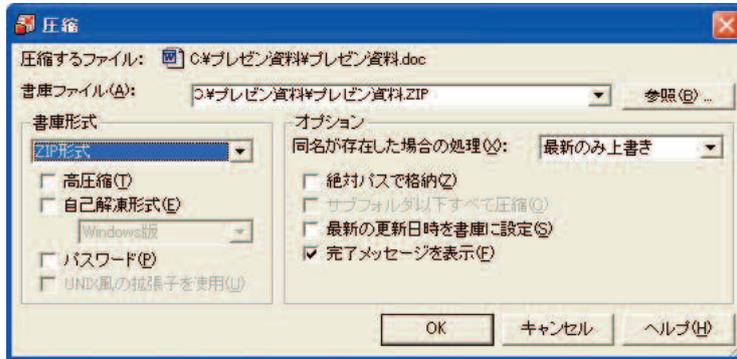
これらの機能を有効にするには、[スタート]メニューから[すべてのプログラム] - [ファイルコンパクト] - [環境設定] を選択します。[環境設定]ダイアログが表示されるので、[メニュー] タブをクリックし、各チェックボックスをチェックします。[環境設定]の詳細については8章をご覧ください。



補足

右クリックメニューのメニュー項目が多くなって使いにくい場合は、メニュー項目を右クリックメニューのサブメニュー内に表示することができます。[サブメニュー表示]をチェックすると、追加したメニュー項目を[ファイルコンパクト]メニューのサブメニューに表示することができます。

選択したファイルやフォルダを圧縮します。ファイルやフォルダは複数選択できます。ファイルやフォルダを選択して表示される右クリックメニューから [圧縮] を選択すると次のダイアログが表示され、オプションを設定することができます。[OK] をクリックすると圧縮を開始します。



●圧縮するファイル

選択したファイルやフォルダの格納場所と名前が表示されます。複数のファイルを選択した場合は、選択したファイルの個数が表示されます。

●書庫ファイル

作成する書庫ファイルの格納場所とファイル名を指定します。初期値では、格納場所は元のフォルダ、ファイル名は圧縮するファイル名の拡張子を書庫の拡張子 (LZH や ZIP など) にした名前になっています。プルダウンメニュー (▼) をクリックすると、圧縮先の履歴が最大で 10 個表示されるので、それを選択することもできます。別の場所に格納する場合は [参照] をクリックして格納場所を指定します。

●書庫形式

作成する書庫ファイルの形式を選択します。対応している形式は、AIZ 形式、LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式、TAR 形式、TAR.GZ (TGZ) 形式、GZ 形式、TAR.BZ2 (TB2) 形式、BZ2 形式の 9 形式です。

高圧縮

圧縮を行う際に、各書庫形式の中で最も高圧縮率な形式を利用します。
LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式で有効になります。

自己解凍形式

書庫ファイルを作成した後、自己解凍形式に変換を行います。書庫形式によって異なる自己解凍作成ダイアログが表示され、自己解凍の形式を選択することができます。自己解凍作成ダイアログについては、後述の『自己解凍の作成』をご覧ください。LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式で有効になります。

パスワード

圧縮を行う際に、ファイルにパスワードを付け加え、圧縮データの暗号化を行います。解凍時にパスワードを入力する必要があります。AIZ 形式、ZIP 形式で有効になります。

UNIX 風の拡張子を使用

UNIX 風の拡張子を使用します。TAR.GZ 形式、TAR.BZ2 形式で有効になります。チェックすると、TGZ→tar.gz、TB2→tar.bz2 となります。

●オプション

同名が存在した場合の処理

圧縮先の書庫ファイルに同じ名前のファイルがすでに格納されている場合の処理を選択します。

確認する	同名のファイルが見つかるたびに、格納するかどうかを確認するダイアログを表示します。
最新のみ上書き	書庫ファイルにすでに格納されているファイルよりも、これから格納しようとしているファイルの更新日時の方が新しい場合にのみ上書き格納します。
同名は上書きしない	同名のファイルがすでに格納されている場合、そのファイルは格納しません。
常に上書き	同名のファイルがすでに格納されていても、常に上書きでそのファイルを格納します。

絶対パスで格納

絶対パスを付加してファイルを格納します。チェックボックスをオフにすると、フォルダを圧縮する場合には相対パスを付加し、ファイルを圧縮する場合にはパス情報をなしにして格納します。

サブフォルダ以下すべて圧縮

フォルダ内にあるサブフォルダもすべて圧縮します。このチェックボックスは、フォルダを選択した場合にのみ有効になります。

最新の更新日時を書庫に設定

書庫ファイルに格納されているファイルの中で、最も新しいファイルの更新日時を書庫ファイルに設定します。

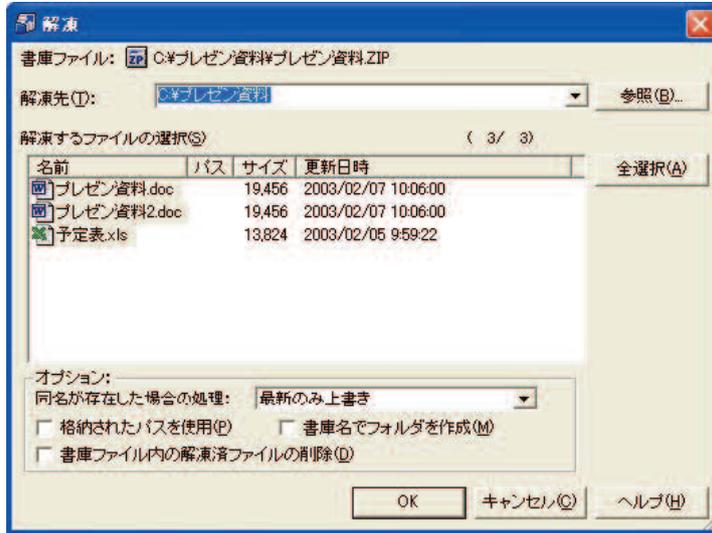
完了メッセージを表示

圧縮を実行した後、完了メッセージを表示します。

補足

選択した書庫ファイルの形式によっては選択できない項目があります。

選択した書庫ファイルを解凍します。このメニューは、書庫ファイルが選択されている場合にのみ有効です。複数の書庫ファイルを選択することもできます。書庫ファイルを選択して表示される右クリックメニューから「解凍」を選択すると次のダイアログが表示され、オプションを設定することができます。「OK」をクリックすると解凍が開始されます。



●書庫ファイル

選択した書庫ファイルの格納場所とファイル名が表示されます。

●解凍先

解凍する場所を指定します。デフォルトでは、元の書庫ファイルが格納されているフォルダになっています。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると、解凍先の履歴が最大で10個表示されるので、それを選択することもできます。別の場所に解凍する場合は「参照」をクリックして、解凍先フォルダを指定します。

●解凍するファイルの選択

書庫ファイル内にあるファイルのうち、どのファイルを解凍するか選択します。カラムヘッダーとして表示されている「名前」「パス」「サイズ」「更新日時」をクリックすると、その項目でソートできます。解凍するファイルを選択するには、解凍するファイルをクリックします。

複数のファイルを選択するには、Ctrl キーや Shift キーを押しながらクリックします。初期状態では、書庫ファイル内のすべてのファイルが選択されています。

注意

巨大な書庫ファイルの内容一覧を表示する場合、一覧の取得に時間がかかることがあります。

●全選択

[解凍するファイルの選択] の一覧に表示されているファイルをすべて選択します。

●オプション

同名が存在した場合の処理

解凍先に同じ名前のファイルがすでに存在する場合の処理を選択します。

確認する	同名のファイルが見つかるたびに、解凍するかどうかを確認するダイアログを表示します。
最新のみ上書き	すでに存在しているファイルよりも、これから解凍しようとしているファイルの更新日時の方が新しい場合にのみ上書き解凍します。
同名は上書きしない	同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルは解凍しません。
常に上書き	同名のファイルがすでに存在していても、常に上書きでそのファイルを解凍します。

格納されたパスを使用

書庫ファイル内に格納されているパス情報を使用して解凍します。

書庫名でフォルダを作成

解凍する書庫ファイルと同じ名前のフォルダを作成し、選択したファイルをそのフォルダ内に解凍します。

書庫ファイル内の解凍済ファイルの削除

解凍を実行した後、書庫ファイル内の解凍されたファイルを削除します。

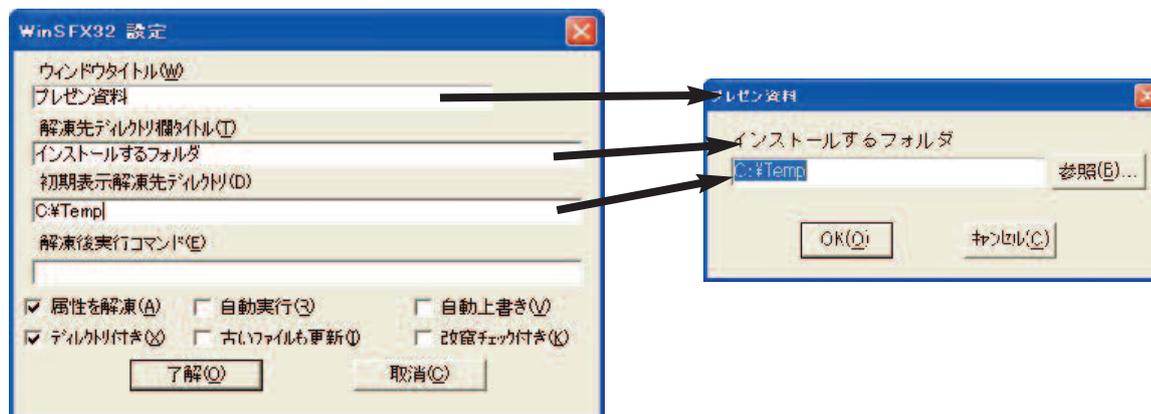
補足

選択した書庫ファイルの形式によっては選択できない項目があります。

自己解凍の作成

書庫ファイルを自己解凍形式の書庫ファイルに変換します。対応する書庫形式は LZH 形式、ZIP 形式、CAB 形式の 3 形式です。このメニューは変更可能な書庫ファイルを選択している時のみ有効です。書庫ファイルを複数選択することはできません。実行すると自己解凍作成ダイアログが表示されます。

◆LZH 形式の場合



設定画面 (Windows 簡易版)

解凍先ディレクトリ指定
ダイアログ (Windows 簡易版)

●ウィンドウタイトル

自己解凍形式ファイルの実行時に表示される解凍先ディレクトリ指定ダイアログのタイトルを入力します。

●解凍先ディレクトリ欄タイトル

解凍先ディレクトリ指定ダイアログのエディットボックスの項目タイトルを入力します。

●初期表示解凍先ディレクトリ

解凍先ディレクトリの初期値を指定したい場合に入力します。入力されていない場合、自己解凍形式ファイルのあるディレクトリ（自己解凍形式ファイルにとってのカレント）が初期値として表示されます。

●解凍後実行コマンド

解凍後に自動的に実行したいプログラム等がある場合ここで指定します。関連付けが行われている環境であれば、直接ファイル名を指定することも可能です。

●オプション

属性を解凍

チェックボックスをチェックすると、解凍するファイルの属性は、元のファイルが持っていた属性になります。システムおよび隠し属性の復元を行う場合、チェックボックスをチェックします。

自動実行

チェックボックスをチェックすると、解凍先を入力せずにそのまま解凍処理を行います。

自動上書き

チェックボックスをチェックすると、上書き確認メッセージを表示せずに上書きします。

ディレクトリ付き

チェックボックスをチェックすると、格納されたパス情報を使用して解凍します。

古いファイルも更新

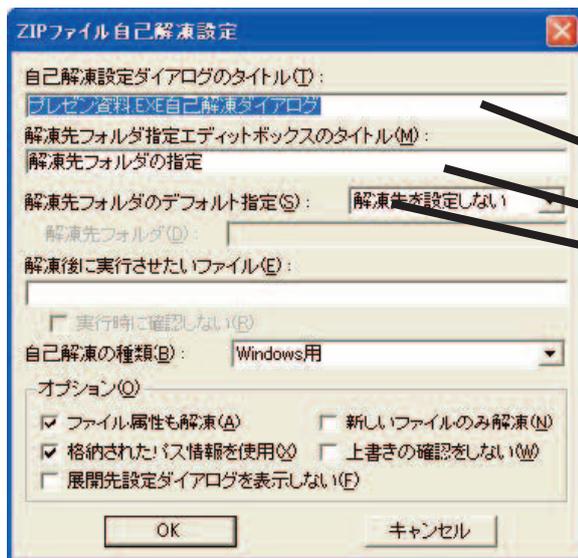
チェックボックスをチェックすると、ファイルの更新日時に関係なく解凍・上書きします。

かいざん

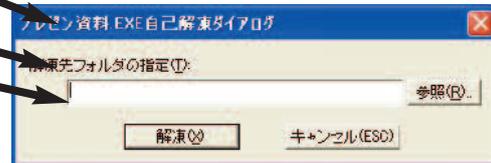
改竄チェック付き

チェックボックスをチェックすると、自己解凍を行う前に改竄チェックを行い、書庫ファイルが改竄されている場合はエラーを表示して解凍を中止します。

◆ZIP 形式の場合



設定画面 (Windows 版)



解凍時画面 (Windows 版)

●自己解凍設定ダイアログのタイトル

自己解凍を行う際に表示されるダイアログのタイトルが表示されます。このタイトルは変更することができます。その場合、変更するタイトルを入力します。

●解凍先フォルダ指定エディットボックスのタイトル

解凍先のフォルダを指定するエディットボックスのタイトルが表示されます。このタイトルは変更することができます。その場合、変更するタイトルを入力します。

●解凍先フォルダのデフォルト指定

自己解凍するファイルの解凍先として、初期値として表示されるフォルダを指定します。

解凍先を指定しない

解凍するフォルダは自己解凍時に指定します。

カレントフォルダ

書庫ファイルが格納されていた場所に自己解凍します。

“Program Files”

Windows の Program Files フォルダに自己解凍します。

“Program Files” のドライブ

Windows の Program Files フォルダが格納されているドライブのルートに自己解凍します。

テンポラリフォルダ

Windows のテンポラリフォルダに自己解凍します。

Windows フォルダ

Windows がインストールされているフォルダに自己解凍します。

System フォルダ

Windows の System フォルダに自己解凍します。

直接指定

自己解凍先を直接指定します。この場合、[解凍先フォルダ] に解凍先を入力します。

●解凍先フォルダ

[解凍先フォルダのデフォルト指定] で指定したフォルダに、新たなフォルダを作成して解凍する場合に指定します。同名のフォルダが存在する場合には、そのフォルダに解凍されます。

●解凍後に実行させたいファイル

自己解凍した後にファイルを実行する場合、そのファイル名を入力します。ファイル名を入力すると、[実行時に確認しない] チェックボックスが有効になります。このチェックボックスをチェックすると、自己解凍の後、指定したファイルを実行するときの確認のダイアログを表示しません。

●自己解凍の種類

[Windows 用] [MS-DOS 用] の 2 種類から選択します。Windows で解凍するか、MS-DOS で解凍するかによって種類を選択してください。

●オプション

ファイル属性も解凍

チェックボックスをチェックすると、解凍するファイルの属性は、元のファイルが持っていた属性になります。[読み取り専用] [隠しファイル] [システム] などの特殊な属性を保存したまま解凍する場合にチェックします。

格納されたパス情報を使用

チェックボックスをチェックすると、格納されたパス情報を使用して解凍します。

展開先設定ダイアログを表示しない

解凍する際に、解凍先のフォルダを設定するダイアログを表示するかどうかを指定します。チェックボックスをオフにすると、[自己解凍設定] ダイアログで指定したタイトルのダイアログが表示され、解凍先を変更することができます。チェックボックスをチェックすると、ダイアログを表示せずに解凍を開始します。

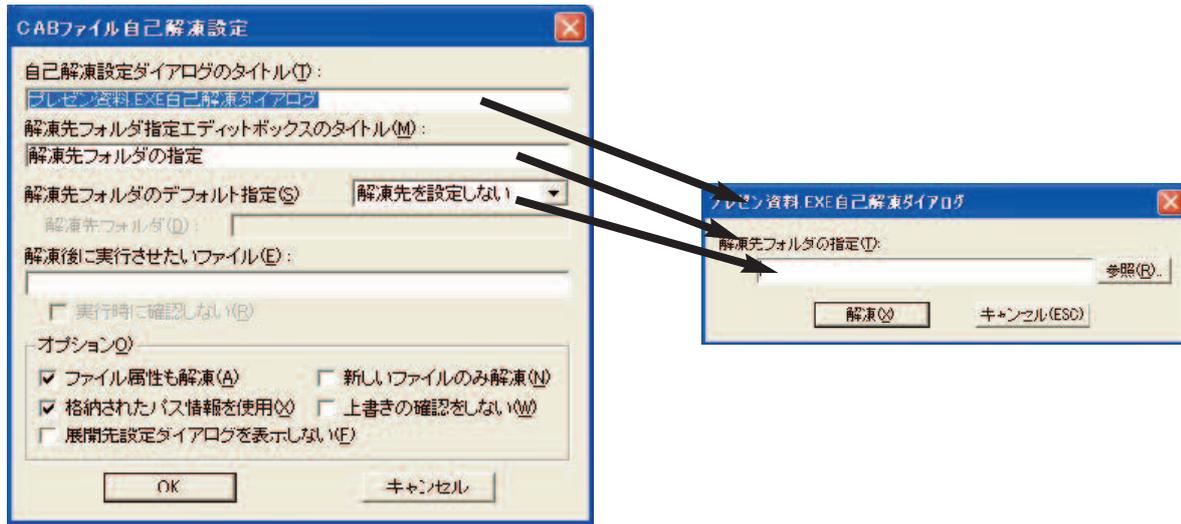
新しいファイルのみ解凍

チェックボックスをチェックすると、解凍先のディレクトリに同名ファイルが存在した場合、既存ファイルよりも更新日時が新しい場合にのみ解凍します。

上書きの確認をしない

チェックボックスをチェックすると、解凍先のディレクトリに同名ファイルが存在した場合、確認せずに上書きします。

◆CAB 形式の場合



設定画面

解凍時画面

●自己解凍設定ダイアログのタイトル

自己解凍を行う際に表示されるダイアログのタイトルが表示されます。このタイトルは変更することができます。その場合、変更するタイトルを入力します。

●解凍先フォルダ指定エディットボックスのタイトル

解凍先のフォルダを指定するエディットボックスのタイトルが表示されます。このタイトルは変更することができます。その場合、変更するタイトルを入力します。

●解凍先フォルダのデフォルト指定

自己解凍するファイルの解凍先として、初期値として表示されるフォルダを指定します。

解凍先を指定しない

解凍するフォルダは自己解凍時に指定します。

カレントフォルダ

書庫ファイルが格納されていた場所に自己解凍します。

“Program Files”

Windows の Program Files フォルダに自己解凍します。

“Program Files” のドライブ

Windows の Program Files フォルダが格納されているドライブのルートに自己解凍します。

テンポラリフォルダ

Windows のテンポラリフォルダに自己解凍します。

Windows フォルダ

Windows がインストールされているフォルダに自己解凍します。

System フォルダ

Windows の System フォルダに自己解凍します。

直接指定

自己解凍先を直接指定します。この場合、[解凍先フォルダ] に解凍先を入力します。

●解凍先フォルダ

[解凍先フォルダのデフォルト指定] で指定したフォルダに、新たなフォルダを作成して解凍する場合に指定します。同名のフォルダが存在する場合には、そのフォルダに解凍されます。

●解凍後に実行させたいファイル

自己解凍した後にファイルを実行する場合、そのファイル名を入力します。ファイル名を入力すると、[実行時に確認しない] チェックボックスが有効になります。このチェックボックスをチェックすると、自己解凍の後、指定したファイルを実行するときに確認のダイアログを表示しません。

●オプション

ファイル属性も解凍

チェックボックスをチェックすると、解凍するファイルの属性は、元のファイルが持っていた属性になります。[読み取り専用][隠しファイル][システム] などの特殊な属性を保存したまま解凍する場合にチェックします。

格納されたパス情報を使用

チェックボックスをチェックすると、格納されたパス情報を使用して解凍します。

展開先設定ダイアログを表示しない

解凍する際に、解凍先のフォルダを設定するダイアログを表示するかどうかを指定します。チェックボックスをオフにすると、[自己解凍設定] ダイアログで指定したタイトルのダイアログが表示され、解凍先を変更することができます。チェックボックスをチェックすると、ダイアログを表示せずに解凍を開始します。

新しいファイルのみ解凍

チェックボックスをチェックすると、解凍先のディレクトリに同名ファイルが存在した場合、既存ファイルよりも更新日時が新しい場合にのみ解凍します。

上書きの確認をしない

チェックボックスをチェックすると、解凍先のディレクトリに同名ファイルが存在した場合、確認せずに上書きします。

書庫の診断

書庫ファイルが壊れていないかどうか調査し、その結果を表示します。書庫ファイルを複数選択することもできます。実行すると、選択されたファイルの診断を開始し、診断が終了するとその結果をダイアログで表示します。

簡単圧縮

選択したファイルやフォルダを簡単圧縮します。簡単圧縮の詳細については、『4.1 簡単圧縮』をご覧ください。

簡単解凍

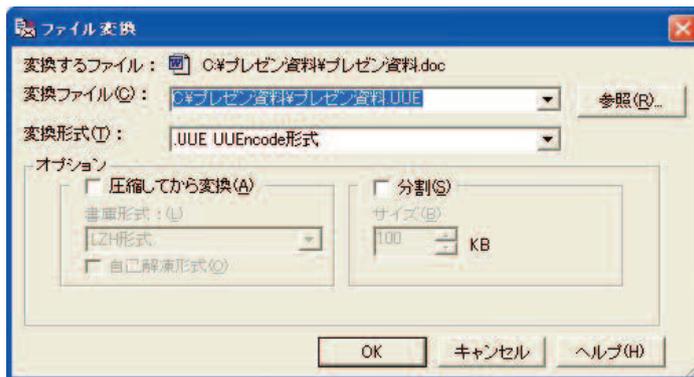
選択した書庫ファイルを簡単解凍します。簡単解凍の詳細については、『4.2 簡単解凍』をご覧ください。

圧縮メール

選択したファイルやフォルダを圧縮し、新規メールに添付してメールアプリケーションを起動します。圧縮メールの詳細については、『4.3 圧縮メール』をご覧ください。

ファイル変換

電子メールで送るバイナリファイルを、テキストファイルに変換します。変換するファイルは複数選択できます。実行すると、次のダイアログが表示され、変換形式やオプションを設定することができます。変換ファイルの詳細については、『1.2 ファイルコンパクトでできること』をご覧ください。



●変換するファイル

変換するファイル名を表示します。複数のファイルを選択した場合は、選択したファイルの個数が表示されます。

●変換ファイル

作成する変換ファイルの格納場所とファイル名を指定します。デフォルトでは、格納場所は元のフォルダです。ファイル名は変換するファイル名の拡張子を変換ファイルの拡張子（UUE、B64）にした名前になっています。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると、変換ファイルの格納場所の履歴が最大で10個表示されるので、それを選択することもできます。

●変換形式

作成する変換ファイルの形式を選択します。対応している形式はUUEncode形式、XXEncode形式、MIME（Base64）形式、BinHex形式の4形式です。

●オプション

圧縮してから変換

ファイルを圧縮し、その書庫ファイルを変換します。書庫形式はLZH形式、ZIP形式、CAB形式から選択します。[自己解凍形式]チェックボックスをチェックすると、自己解凍形式の書庫ファイルを作成します。

分割

変換した後、指定されたサイズで分割します。

サイズ

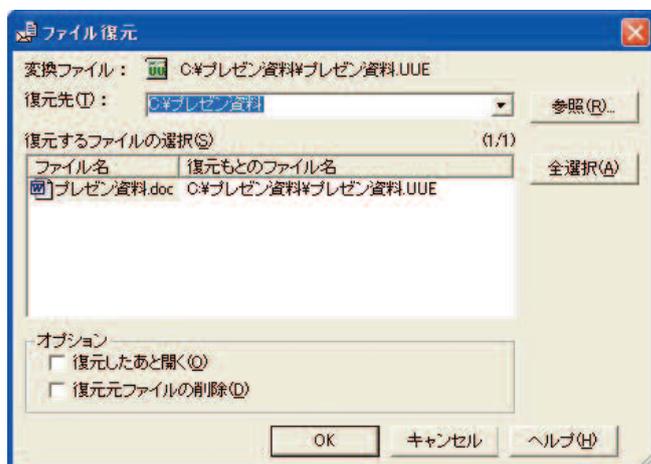
変換した後、分割する時の最大分割サイズを指定します。

ファイル復元

電子メールで送られた、変換形式の添付ファイルをバイナリファイルに復元します。このメニューは復元可能なファイルを選択している場合のみ有効です。復元するファイルは複数選択できます。実行すると次のダイアログが表示され、復元する場所やオプションを設定することができます。

注意

分割された変換ファイルを復元する場合、分割された変換ファイルのすべてを選択して、右クリックメニューからファイル復元を実行してください。



●変換ファイル

選択したファイルの格納場所とファイル名が表示されます。複数選択している場合は、選択したファイルの個数が表示されます。

●復元先

変換ファイルを復元する場所を指定します。デフォルトは、変換ファイルが格納されていた元のフォルダです。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると、復元先の履歴が最大で 10 個表示されるので、それを選択することもできます。別の場所に格納する場合は [参照] をクリックして格納場所を指定します。

●復元するファイルの選択

変換ファイル内にあるファイルのうち、どのファイルを復元するか選択します。選択するには、復元するファイルをクリックします。デフォルトでは、変換ファイル内のすべてのファイルが選択されています。[全選択] をクリックすると、すべてのファイルが選択状態になります。

●オプション

復元したあと開く

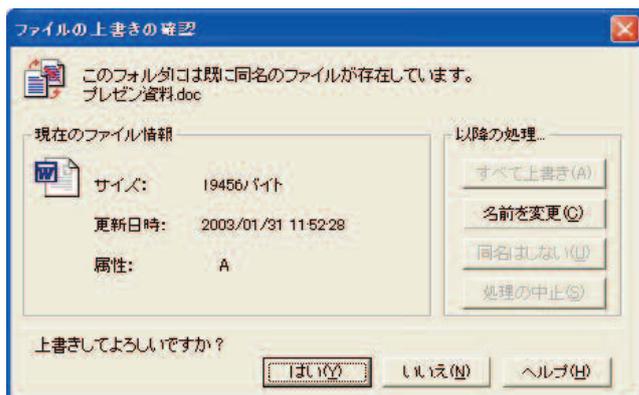
復元したファイルを実行します。

復元元ファイルの削除

変換ファイルを復元した後、復元元のファイルを削除します。

◆復元先に同名のファイルがある場合

ファイルを復元した時に、復元先に同じ名前のファイルがすでにある場合、次のダイアログが表示されます。



次の処理をまとめて行う場合、処理を選択して各ボタンをクリックします。上書きする場合は [はい] を、上書きしない場合は [いいえ] をクリックします。

すべて上書き

元のファイルを無条件で復元先へ復元します。

名前を変更

Windows エクスプローラ上で同じフォルダ内でコピーを行う場合と同じように、復元先のファイル名にはそれぞれ [コピー～] と付け加えられます。

同名はしない

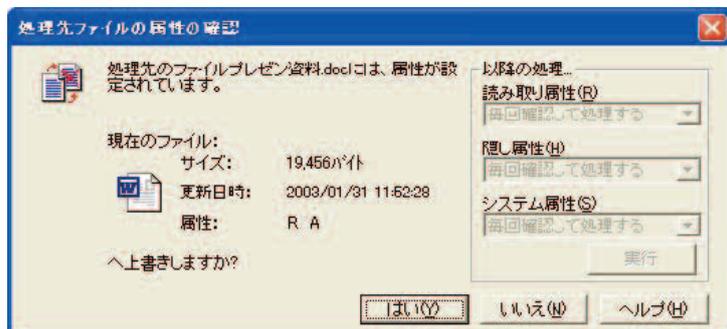
復元先に元のファイルと同じ名前のファイルがある場合、復元しません。

処理の中止

処理をすべて中止します。

◆不適切な属性を持つファイルの場合

復元先に、復元元のファイルと同じ名前のファイルがあり、さらに読み取り属性など、処理に不適切な属性を持つファイルがある場合、次のダイアログが表示されます。



必要な処理を選択します。上書きする場合は [はい] を、上書きしない場合は [いいえ] をクリックします。

分割

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

1つのファイルを単に分割するだけでなく、複数のファイルを圧縮してから分割を行うこともできます。

書庫形式によって、分割単位の最大サイズが制限されます。

無圧縮分割
(DVF 形式)

最大分割サイズは 4GB です。

ハードディスク、リムーバブルドライブの両方で分割ファイルを作成できます。

AIZ 形式

最大分割サイズは 4GB です。

ハードディスク、リムーバブルドライブの両方で分割ファイルを作成できます。

ZIP 形式

最大分割サイズは 4GB です。

リムーバブルドライブでだけ分割ファイルを作成できます。

CAB 形式

最大分割サイズは 1GB です。

ハードディスク、リムーバブルドライブの両方で分割ファイルを作成できます。

注意

リムーバブルドライブに分割する場合は、フォーマットしたメディアを使用してください。



●分割するファイル

選択したファイルの格納場所とファイル名が表示されます。複数のファイルを選択した場合は、選択したファイルの個数が表示されません。

●分割先

分割ファイルを作成する場所（フォルダ名）を指定します。初期設定は、分割するファイルと同じフォルダです。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると、分割先の履歴が最大で10個表示されるので、それを選択することもできます。別の場所に格納する場合は「参照」をクリックして、格納場所を指定します。

●オプション

圧縮して分割する

分割する際に、ファイルを圧縮するかどうかを指定します。

チェックボックスをチェックすると、圧縮に関する設定が有効になります。

補足

複数のファイルを選択した場合、およびフォルダを選択した場合には、常に「圧縮して分割する」にチェックが付きます。

書庫形式

作成する書庫ファイルの形式を選択します。選択可能な書庫形式は、[AIZ形式] [ZIP形式] [CAB形式] の3形式です。

初期設定は [AIZ形式] です。

高圧縮

圧縮を行う際に、各書庫形式の中で最も高圧縮率な形式を利用します。
[ZIP 形式] [CAB 形式] で有効になります。

自己解凍形式

分割して作成された先頭の書庫ファイルを自己解凍形式に変換します。
書庫形式によって異なる自己解凍作成ダイアログが表示され、自己解凍の形式を選択することができます。[ZIP 形式] [CAB 形式] で有効になります。

パスワード

圧縮を行う際にファイルにパスワードを付け加え、圧縮データの暗号化を行います。解凍時にパスワードを入力する必要があります。[AIZ 形式] [ZIP 形式] で有効になります。

●分割サイズ

プルダウンメニュー (▼) をクリックして、分割サイズを選択します。フロッピーディスクなどの交換可能ディスクのサイズは、あらかじめ登録されていますので、メディアと容量を選択してサイズを指定します。[ユーザー指定] を選択すると、指定サイズを入力するフィールドが有効になり、任意のサイズを指定できます。

注意

実際に使用するメディアより大きいサイズを指定しないでください。

注意

ディスクのフォーマットの種類によっては、指定した分割サイズよりも空き容量が少ない場合があります。この場合には分割処理を実行できませんので、[ユーザー指定] を選択して、最適なサイズを指定してください。

結合

分割された複数のファイルを元のファイルに結合します。

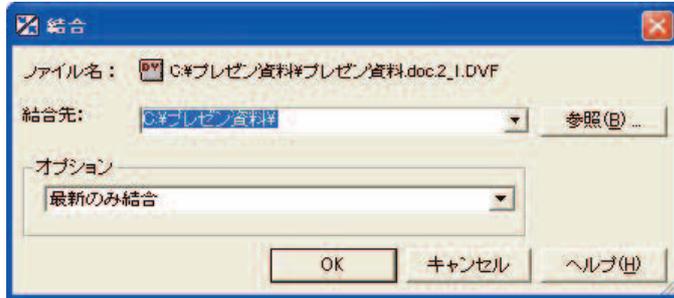
複数の分割ファイルのうち、次の条件に合うものを選択します。

DVF 形式の場合……最初のファイル（またはディスク）

AIZ 形式の場合……最後のファイル（またはディスク）

ZIP 形式の場合……最後のディスク

CAB 形式の場合……最初のファイル（またはディスク）



●ファイル名

選択したファイルの格納場所とファイル名が表示されます。

●結合先

ファイルを結合する場所を指定します。デフォルトは、分割ファイルが格納されていた元のフォルダです。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると、結合先の履歴が最大で 10 個表示されるので、それを選択することもできます。別の場所に格納する場合は [参照] をクリックして格納場所を指定します。

●オプション

最新のみ結合

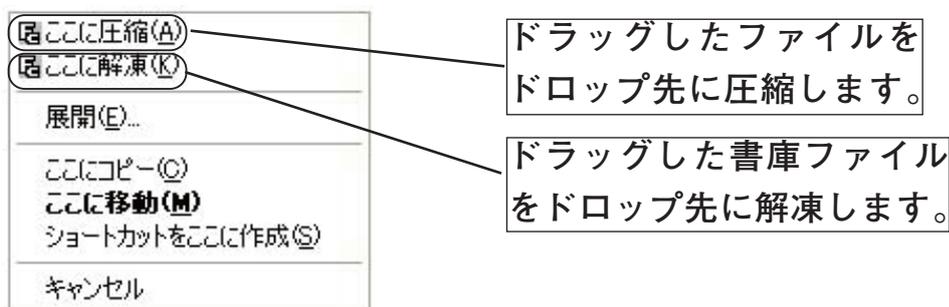
結合先にすでに存在しているファイルよりも、これから結合しようとしているファイルの更新日時の方が新しい場合にのみ上書きで結合します。

同名は結合しない

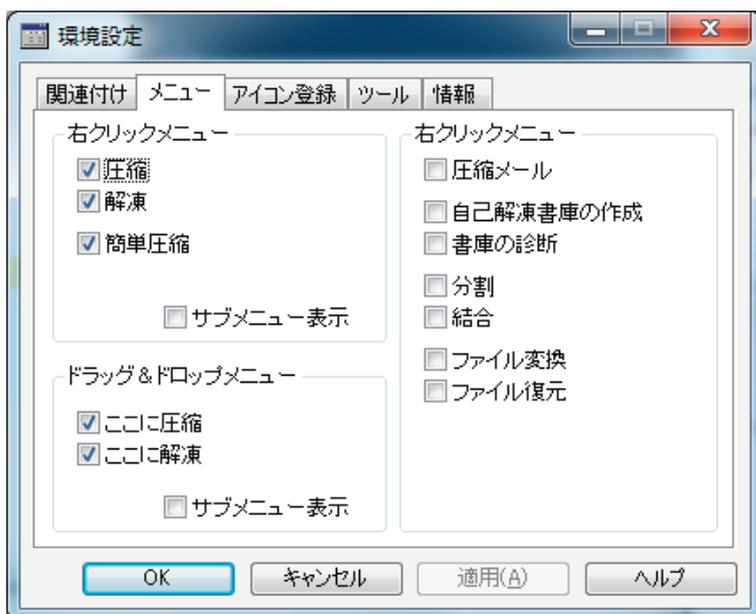
結合先に元のファイルと同じ名前のファイルがある場合、結合しません。

4.3 ドラッグ&ドロップメニューの拡張

マウスの右ボタンを使ってドラッグ&ドロップすると、ドラッグ&ドロップメニューが表示されます。エクスプローラ拡張では、このドラッグ&ドロップメニューに、次のメニュー項目を追加します。



これらの機能を有効にするには、[環境設定] - [メニュー] タブの各チェックボックスをチェックします。[環境設定] の起動方法や詳細については、8章をご覧ください。



補足

ドラッグ&ドロップメニューのメニュー項目が多くなって使いにくい場合は、メニュー項目をドラッグ&ドロップメニューのサブメニュー内に表示することができます。[サブメニュー表示] をチェックすると、追加したメニュー項目を [ファイルコンパクト] メニューのサブメニューに表示することができます。

これらのメニューを選択するための操作方法はいずれも次の手順になります。

.....
1.ファイルやフォルダを選択して反転表示させます。

.....
2.マウスの右ボタンを使って選択したファイルやフォルダを格納する場所までドラッグ&ドロップします。

.....
3.表示されるファイルコンパクトのドラッグ&ドロップメニュー項目から目的のメニューを選択します。

次に、それぞれのメニュー項目の詳細について説明します。

ここに圧縮

ドラッグしたファイルやフォルダをドロップ先に圧縮します。ファイルやフォルダは複数選択できます。圧縮するファイルの格納場所をドラッグ&ドロップで指定することができるので、圧縮した後、コピー／移動するという操作を一度に行えます。最新ファイルのみ圧縮することもできます。基本的な操作方法や表示されるダイアログは右クリックメニュー拡張の圧縮と同じです。

詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『圧縮』をご覧ください。

ここに解凍

ドラッグした書庫ファイルをドロップ先に解凍します。複数の書庫ファイルを選択することはできません。解凍するファイルの格納場所をドラッグ&ドロップで指定することができるので、解凍した後、コピー／移動するという操作を一度に行えます。最新ファイルのみ解凍したり、書庫名でフォルダを作成したりできます。基本的な操作方法や表示されるダイアログは右クリックメニュー拡張の解凍と同じです。

詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『解凍』をご覧ください。

5. 書庫エクスプローラの使い方

5.1. 書庫エクスプローラの機能概要

書庫エクスプローラは、Windows エクスプローラで通常のファイルを扱うように、書庫ファイル内に圧縮されているファイルを操作できるファイル管理ツールです。

以下のような特徴があります。

◆ 書庫ファイルをフォルダとして扱う

Windows エクスプローラでは、書庫ファイルは通常1つのファイルとして扱われますが、書庫エクスプローラではフォルダとして扱われます。したがって、通常のフォルダ内のファイルを一覧表示するように、書庫ファイル内の圧縮されているファイルを一覧表示して、簡単にそれらを扱うことができます。

注意

巨大な書庫ファイルの内容一覧を表示する場合、一覧の取得に時間がかかることがあります。

◆ 自動圧縮・自動解凍

書庫エクスプローラでのファイルの圧縮や解凍は、書庫ということを意識せずに行うことができます。

Windows エクスプローラと同じように、ドラッグ&ドロップやメニューのコピー（切り取り）&貼り付けの操作をするだけで、ファイルの圧縮、解凍を行うことができます。

たとえば、あるファイルを書庫ファイルにドラッグ&ドロップすると、自動的に圧縮されます。また、書庫ファイルの中からあるファイルを通常のフォルダにドラッグ&ドロップすると、自動的に解凍されます。

◆アプリケーションの起動

書庫エクスプローラでは、書庫内のファイルを一覧表示している状態で、目的のファイルをダブルクリックするだけで圧縮されているファイルが自動的に解凍され、そのファイルが関連付けられているアプリケーションで開くことができます。

◆書庫エクスプローラを起動するには

書庫エクスプローラを起動するには、次の3つの方法があります。

- ・ [スタート] メニューの [すべてのプログラム] から [ファイルコンパクト] をポイントし、 [書庫エクスプローラ] を選択する
- ・ スマートナビのツールバーの [書庫閲覧] をクリックする
- ・ デスクトップ上の [書庫エクスプローラ] アイコンをダブルクリックする

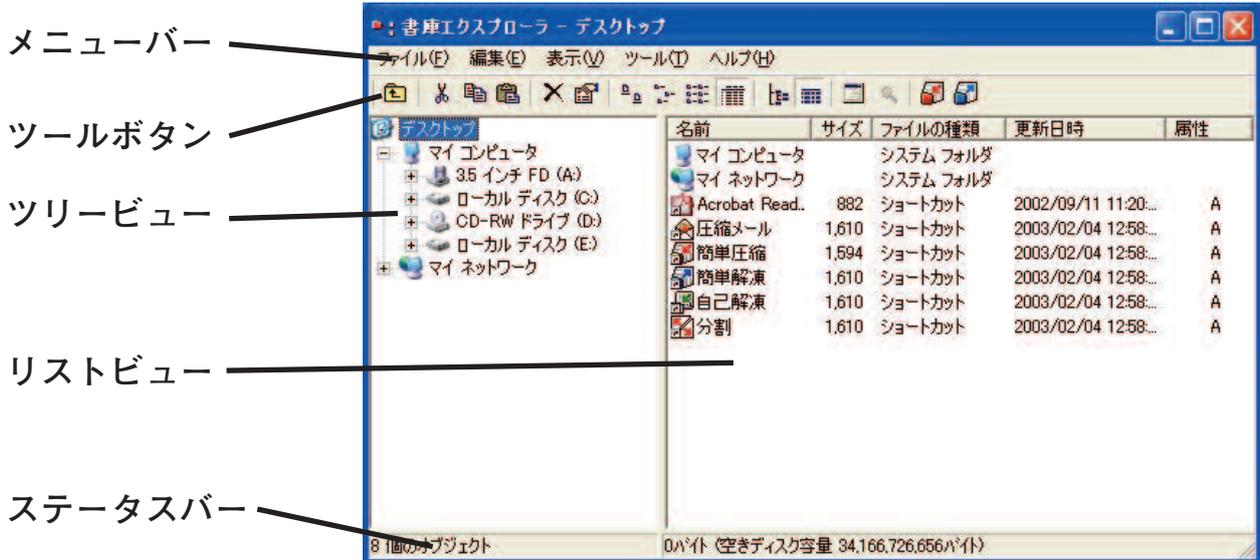


補足

アイコンをデスクトップに表示させる方法については、『6.5 書庫エクスプローラの設定』をご覧ください。

5.2.書庫エクスプローラの画面説明

書庫エクスプローラを起動すると、次の画面が表示されます。



●メニューバー

書庫エクスプローラのメニュー項目には、独自のメニュー項目があります。各メニュー項目を選択すると、その項目の説明がステータスバーに表示されます。次に独自のメニュー項目を説明します。

[表示] メニュー

アイコンの整列－属性順

表示方法を詳細表示にした際にカラムタイトル[属性]に表示されている文字（R、H、S、A、C）の順に整列します。属性を持たないファイルがある場合、そのファイルが先に表示されます。

属性の意味

- R [読み取り専用] 属性
- H [隠しファイル] 属性
- S [システム] 属性
- A [アーカイブ] 属性
- C [圧縮] 属性

アイコンの整列－格納順

ハードディスクに保存されている順に整列します。

書庫のパス表示 書庫ファイルのパス情報を表示する方法を指定します。

[ツール] メニュー

環境設定

[環境設定] ダイアログを表示します。 AI ビューア AI ビューアを起動します。この機能は、旧バージョンとの互換性のために残されています。ファイルコンパクト Ver.4、Ver.3.1 で追加機能「AI ビューア」をセットアップされていて、かつ現バージョンを上書きセットアップした場合にご利用になれます。

圧縮

選択しているファイルやフォルダを圧縮します。

解凍

選択している書庫ファイルまたは書庫内のファイルを解凍します。

● ツールボタン

書庫エクスプローラには、独自のツールボタンがあります。これらのツールボタンと同様の機能が、メニューバーの各メニューにもあります。



[階層表示] 書庫内のファイルのパス情報をツリー形式で表示します。



[一覧表示] 書庫内のファイルのパス情報を [パス情報] カラムタイトルに表示します。



[環境設定] 書庫エクスプローラの環境設定を起動します。



[AI ビューア] AI ビューアを起動します。この機能は、旧バージョンとの互換性のために残されています。ファイルコンパクト Ver.4、Ver.3.1 で追加機能「AI ビューア」をセットアップされていて、かつ現バージョンを上書きセットアップした場合にご利用になれます。



[圧縮] 選択しているファイルを圧縮します。



[解凍] 選択している書庫ファイルまたは書庫内のファイルを解凍します。

●ツリービュー

Windows エクスプローラと同様、ドライブ、フォルダ等が表示されます。フォルダはもちろんのこと、書庫ファイルもフォルダと同じように表示されます。

●リストビュー

ツリービューで選択されているフォルダおよび書庫ファイル内にあるファイルの一覧が表示されます。リストビューを表示する方法は、Windows エクスプローラと同様、[大きいアイコン]、[小さいアイコン]、[一覧]、および [詳細] があります。表示を変えるには、[表示] メニューから表示方法を選択します。

●ステータスバー

リストビューに表示されているオブジェクトの数とバイト数が表示されます。書庫ファイル内の圧縮されたファイルを選択している場合に表示されるバイト数は、解凍時のサイズです。

注意

書庫エクスプローラでは、書庫ファイル内のファイルやフォルダに対して「ショートカットの作成」および「名前の変更」を行うことはできません。また、書庫ファイルの内容を表示している場合、右クリックメニューの「新規作成」を選択することはできません。

5.3 ファイルやフォルダを圧縮する

書庫エクスプローラでは、次の4つの方法で圧縮することができます。

① ツールボタンを使って圧縮する

1. リストビューから圧縮するファイルを選択します。

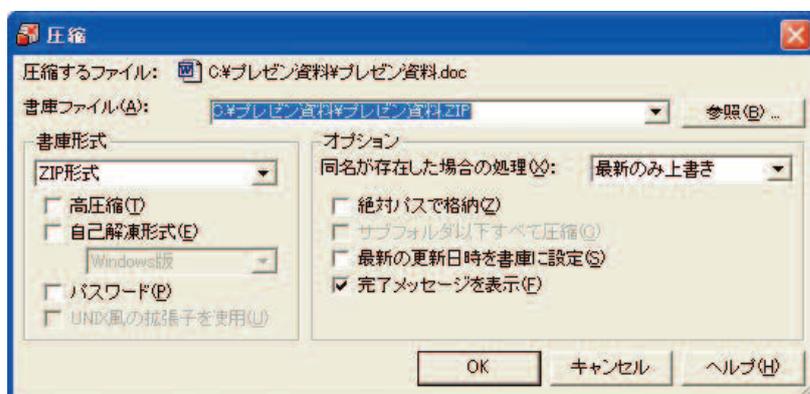
ファイルは複数選択できます。

2. ツールバーの [圧縮] をクリックします。

圧縮ダイアログが表示されます。

3. 圧縮の詳細を設定し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると、圧縮を開始します。



参照

この画面の詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『圧縮』をご覧ください。

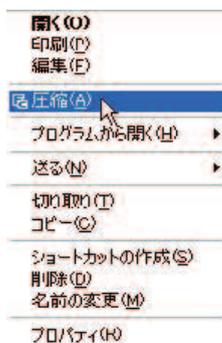
②右クリックメニューの「圧縮」で圧縮する

1.圧縮するファイルやフォルダを選択します。

リストビューで選択した場合、ファイルは複数選択できます。

2.選択したファイルを右クリックします。

右クリックメニューが表示されます。



補足

エクスプローラ拡張の「圧縮」機能を使用していない場合でも、「圧縮」メニューは書庫エクスプローラが自動的に追加します。

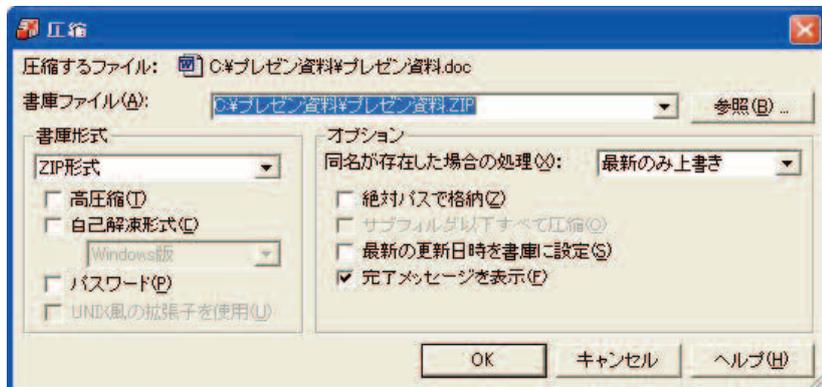
また、エクスプローラ拡張の右クリックメニューを[サブメニュー表示]に設定している場合でも、「圧縮」メニューはサブメニュー内には表示されません。

3.「圧縮」を選択します。

圧縮ダイアログが表示されます。

4.圧縮の詳細を設定し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると、圧縮を開始します。



参照

この画面の詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『圧縮』をご覧ください。

③ドラッグ&ドロップで圧縮する

右クリックメニューで新規書庫ファイルを作成してから、ドラッグ&ドロップでファイルを圧縮します。既存の書庫ファイルに追加して圧縮する場合は、手順3以降をご覧ください。

1. リストビューで右クリックメニューを表示させ、[新規作成]をポイントし、[書庫ファイル (LZH 形式)] [書庫ファイル (ZIP 形式)] [書庫ファイル (AIZ 形式)] のいずれかを選択します。



2. 新規作成した書庫ファイルの名前を適切な名前に変更します。

新規に作成した書庫ファイルがリストビューに表示されます。

3. リストビューから圧縮するファイルを選択します。

ファイルは複数選択できます。

4. 選択したファイルを新規書庫ファイルへドラッグ&ドロップします。

圧縮を開始します。

補足

圧縮したファイルのパス情報は、[環境設定] - [パス情報] タブで設定することができます。

ドラッグ&ドロップ操作時にマウスカーソルに正符号(+)が付いている場合にはコピーして圧縮され、マウスカーソルのみの場合には移動して圧縮されます。強制的にコピーしたい場合には Ctrl キーを押しながら操作します。移動の場合には Shift キーを押しながら操作します。

④コピー&貼り付けで圧縮する

圧縮するファイルをコピーまたは切り取り、既存の書庫ファイルに貼り付けて圧縮します。

1.圧縮するファイルをコピーします。

ファイルは複数選択できます。

2.書庫エクスプローラで、選択したファイルを格納する書庫ファイルを開きます。

3.書庫ファイルを開いたウィンドウ内に貼り付けます。

コピーしたファイルを圧縮し、書庫ファイルに格納します。

補足

圧縮したファイルのパス情報は、[環境設定] - [パス情報] タブで設定することができます。

5.4 書庫ファイルを解凍する

書庫エクスプローラでは、次の4つの方法で解凍することができます。

① 自動解凍の機能を利用して解凍する

1. 書庫エクスプローラのツリービューから解凍する書庫ファイルを選択します。

選択した書庫ファイルの中身がリストビューに表示されます。

2. リストビューから解凍するファイルを選択します。

ファイルは複数選択できます。

3. 選択したファイルをダブルクリックします。複数のファイルを選択した場合は右クリックメニューから[開く]を選択します。

選択した書庫ファイルを自動的に書庫エクスプローラのテンポラリフォルダに解凍し、そのファイルを開きます。

補足

解凍した後、印刷したり表示する場合は、右クリックメニューから[印刷]または[クイックビューア]を選択します。選択したファイルは自動的に書庫エクスプローラのテンポラリフォルダに解凍され、選択した処理が実行されます。

注意

[表示]メニューの[書庫のパス表示]で[階層表示]を選択している場合、書庫ファイル内のフォルダを選択することはできません。

② ツールボタンを使って解凍する

1. 書庫エクスプローラのツリービューから解凍する書庫ファイルを選択します。

選択した書庫ファイルの内容がリストビューに表示されます。

2. リストビューから解凍するファイルを選択します。

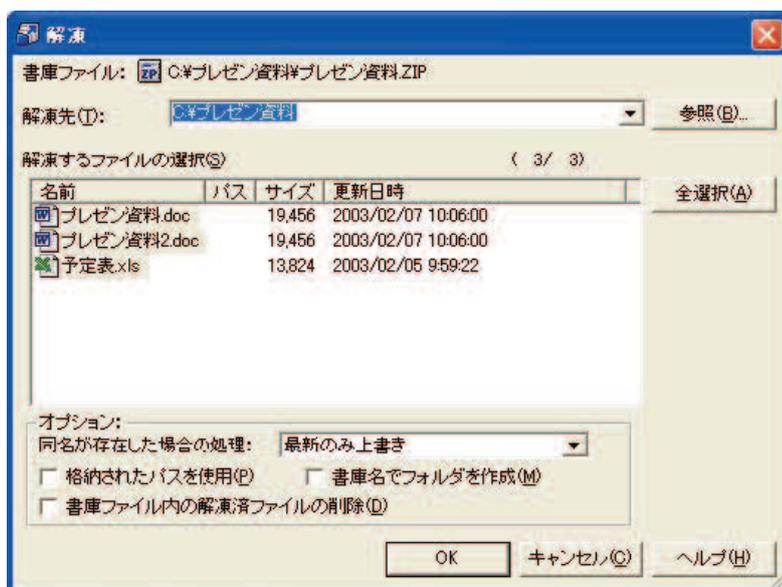
ファイルは複数選択できます。

3. ツールバーの [解凍] をクリックします。

解凍ダイアログが表示されます。

4. 解凍の詳細を設定し、[OK] をクリックします。

解凍を開始します。



参照

この画面の詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『解凍』をご覧ください。

注意

[表示] メニューの [書庫のパス表示] で [階層表示] を選択している場合、書庫ファイル内のフォルダを選択することはできません。

③右クリックメニューの「解凍」で解凍する

1.解凍する書庫ファイルを選択します。

複数の書庫ファイルを選択することはできません。

2.選択したファイルを右クリックします。

右クリックメニューが表示されます。

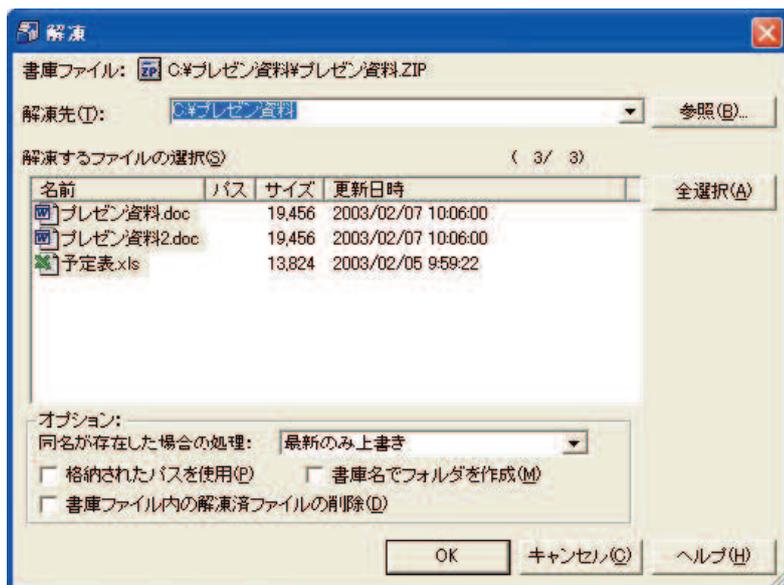


3.「解凍」を選択します。

解凍ダイアログが表示されます。

4.解凍の詳細を設定し、[OK] をクリックします。

解凍を開始します。



参照

この画面の詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の『解凍』をご覧ください。

補足

エクスプローラ拡張の「解凍」機能を使用していない場合でも、「解凍」メニューは書庫エクスプローラが自動的に追加します。また、エクスプローラ拡張の右クリックメニューを [サブメニュー表示] に設定している場合でも、「解凍」メニューはサブメニュー内には表示されません。

④ドラッグ&ドロップで解凍する

1.書庫エクスプローラのツリービューから書庫ファイルを選択します。

選択した書庫ファイルの内容がリストビューに表示されます。

2.リストビューから解凍したいファイルを選択します。

3.選択したファイルを通常のフォルダへドラッグ&ドロップします。

解凍を開始します。

補足

[表示] メニューの [書庫のパス表示] で [階層表示] を選択している場合、書庫ファイル内のフォルダを選択することはできません。

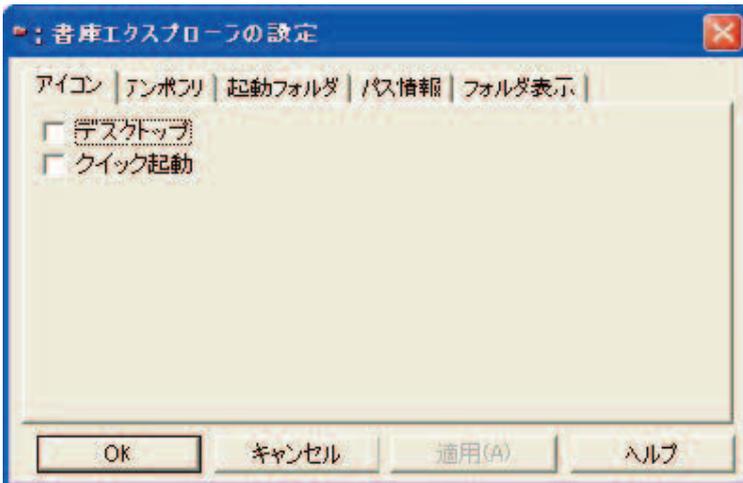
ドラッグ&ドロップ操作時にマウスマウスカーソルに正符号 (+) が付いている場合にはコピーして解凍され、マウスマウスカーソルのみの場合には移動して解凍されます。強制的にコピーしたい場合には Ctrl キーを押しながら操作します。移動の場合には Shift キーを押しながら操作します。

5.5 書庫エクスプローラの設定

書庫エクスプローラの設定は、[書庫エクスプローラの設定] ダイアログで一括して行います。[書庫エクスプローラの設定] ダイアログを表示させるには、書庫エクスプローラを起動した後、メニューから [ツール] - [環境設定] を選択します。[書庫エクスプローラの設定] ダイアログは、以下の5つのタブで構成されています。

[アイコン] タブ

書庫エクスプローラのショートカットをデスクトップに登録するかどうかを設定します。



●デスクトップ

チェックボックスをチェックすると、デスクトップにアイコンを作成します。

●クイック起動

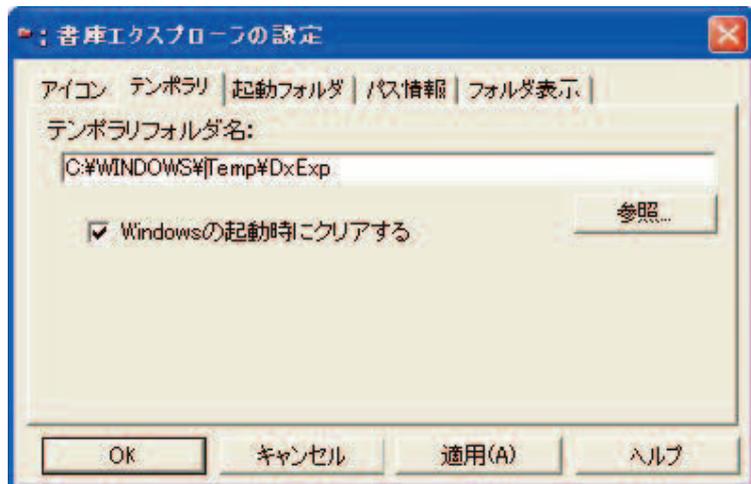
チェックボックスをチェックすると、タスクバーのクイック起動バーにアイコンを作成します。

クイック起動バーは、Internet Explorer Ver.4 以降がシェル統合モードでインストールされている環境や、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 で存在します。

このチェックボックスは、クイック起動バーが利用できる環境でのみ有効になります。

[テンポラリ] タブ

書庫ファイルを開くときなどには、書庫ファイルを一時的に解凍する必要があります。このときに作られるファイルを保管するフォルダをテンポラリフォルダといいます。そのテンポラリフォルダについて設定します。



●テンポラリフォルダ名

テンポラリフォルダの場所を指定します。初期設定では、Windows のテンポラリフォルダの下の DxExp フォルダです。

注意

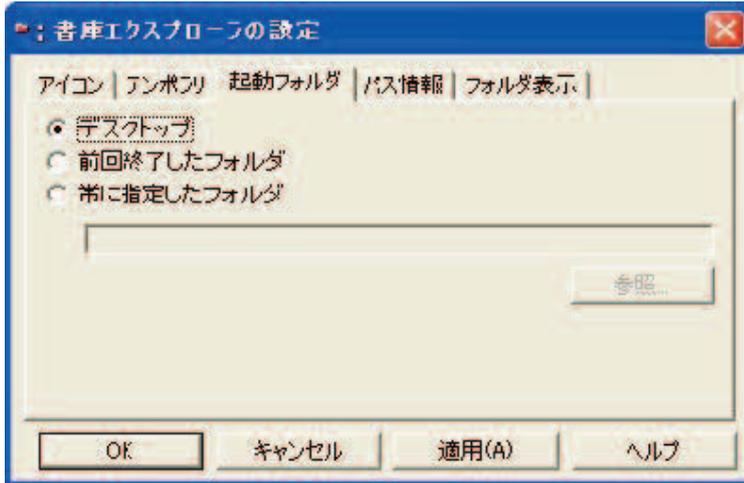
ファイルコンパクト以外のアプリケーションが使用しているフォルダを指定しないでください。

●Windows の起動時にクリアする

チェックボックスをチェックすると、Windows が起動するときに、テンポラリフォルダの内容をすべて削除します。書庫ファイルに格納されているファイルを操作していると、テンポラリフォルダがだんだんいっぱいになってきます。このチェックを付けておくと、Windows の起動時にこれらの一時解凍ファイルを自動的にクリアすることができます。

[起動フォルダ] タブ

書庫エクスプローラを起動したとき最初に表示するフォルダを選択します。



●デスクトップ

起動時には、デスクトップを表示します。

●前回終了したフォルダ

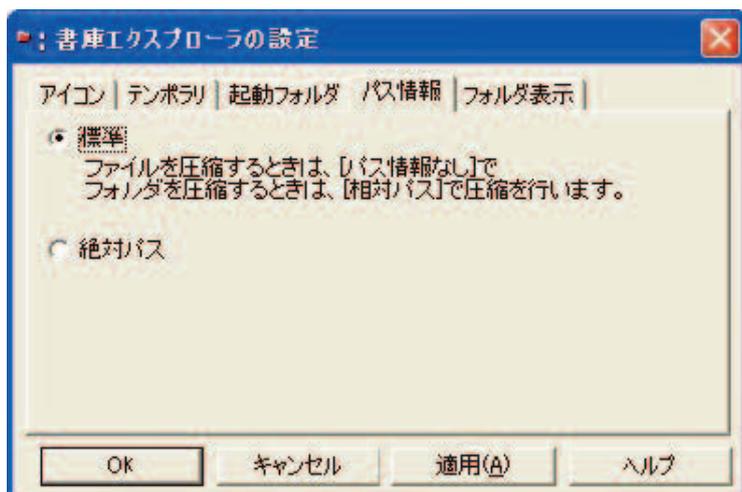
起動時には、前回起動した書庫エクスプローラで、終了時に表示していたフォルダを表示します。

●常に指定したフォルダ

起動時には、指定したフォルダを表示します。この項目を選択すると、フォルダを指定するフィールドが有効になります。ここにフォルダ名を指定してください。フィールドの右下にある [参照] ボタンを押すと、フォルダの選択ダイアログが表示されます。目的のフォルダを、このダイアログから選択することができます。

[パス情報] タブ

書庫ファイルにファイルやフォルダを圧縮する際には、パス情報を格納することもできます。そのパス情報について設定します。



●標準

圧縮する対象がファイルのときは、パス情報なしで格納されます。

上記の例では、"C:¥Dir1¥Dir2¥File.txt"というファイルがあったとき、"File.txt"を選択して圧縮すると、"File.txt"がパス情報なしで格納されます。

圧縮する対象がフォルダのときは、相対パスで圧縮されます。

上記の例では、"Dir2"を選択して圧縮すると、"File.txt"がパス情報"Dir2/"で格納されます。

●絶対パス

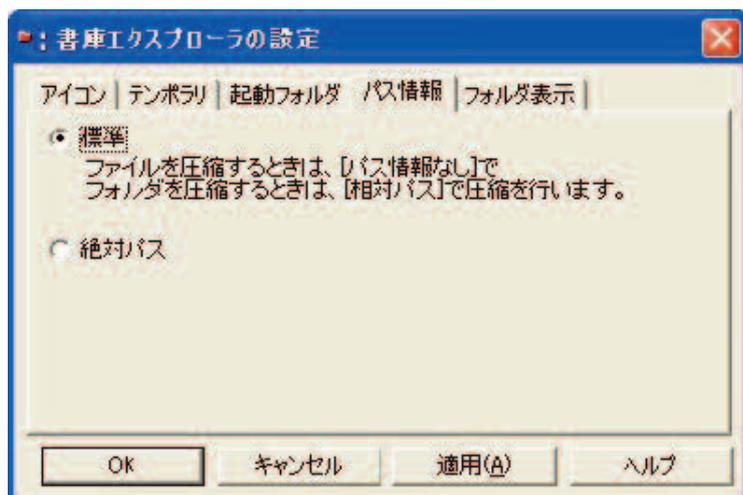
圧縮する対象がファイルでもフォルダでも、絶対パスで格納されます。

上記の例では、"C:¥Dir1¥Dir2¥File.txt"というファイルがあったとき、"File.txt"を選択して圧縮すると、"File.txt"がパス情報"Dir1/Dir2/"で格納されます。

また、"Dir2"を選択して圧縮したときも、"File.txt"がパス情報"Dir1/Dir2/"で格納されます。

[フォルダ表示] タブ

ファイル一覧の各項目の幅・表示順序、表示形式などをどのように保存・利用するかを設定します。



●共通設定を利用する

リストビューでの表示方法の設定を、共通の設定として保存します。したがって、フォルダ A を表示して項目の幅や [大きいアイコン] などの表示形式を変更し、その後フォルダ B を表示したときには、フォルダ A で設定した状態でフォルダ B が表示されます。

●各フォルダ毎に保存

リストビューでの表示方法の設定を、各フォルダ毎に保存します。したがって、フォルダ A を表示して項目の幅や [大きいアイコン] などの表示形式を変更し、その後フォルダ B を表示したときには、フォルダ A で設定された状態に関係なく、以前にフォルダ B を表示したときの設定に基づいて表示されます。

6.書庫内検索の使い方

6.1.書庫内検索の概要

書庫内検索とは、書庫ファイルを対象に圧縮されているファイルを検索するツールです。

ハードディスクを有効活用するため様々なファイルを圧縮して保存している場合、どの圧縮ファイルに保存したかを探し出すのは、大変困難な作業です。

書庫内検索を使えば、Windows の検索と同じように書庫ファイルということ意識しないで、圧縮されているファイルを検索することができます。検索条件を設定することで、一定の期間に作成された特定の種類のファイルを検索することができます。

また、検索されたファイルを右クリックして [解凍] や [開く] を選択すれば、即座に書庫内から欲しいファイルを取り出したり、簡単にファイルの内容を確認したりすることができます。

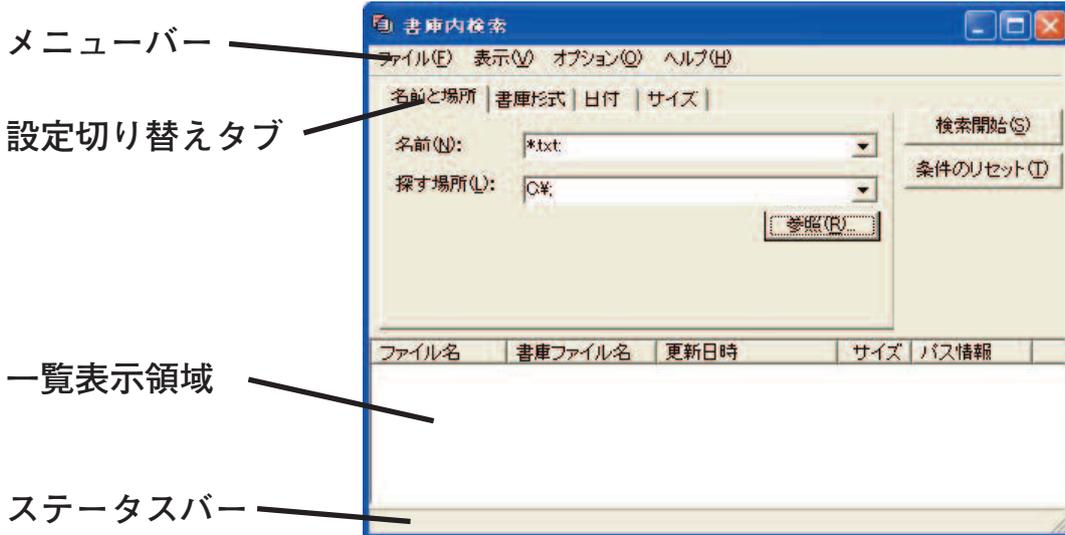
さらに、[書庫を開く] を選択すれば、書庫エクスプローラを起動して書庫の内容を一覧表示することもできます。同様に [書庫を解凍] を選択すれば、選択したファイルを含む書庫ファイルを解凍することもできます。

書庫内検索を起動するには、次の3つの方法があります。

- スマートナビのツールバーの [書庫検索] をクリックする
- [スタート] メニューの [検索] から [書庫内検索] を選択する (Windows XP の場合、[スタート] メニューのスタイルを「クラシック」に設定している場合のみ利用できます。)

6.2.書庫内検索の画面

書庫内検索を起動すると、次のウィンドウが表示されます。



●メニューバー

コマンドのメニューが表示されます。

●設定切り替えタブ

検索条件の設定を行うタブが表示されます。設定内容は、選択するタブによって異なります。

●一覧表示領域

一覧が表示されます。カラムの幅は、区切り線をドラッグして変更できます。またカラムのヘッダー部分をクリックするとそのカラムをキーとしてソートして表示します。もう一度同じカラムをクリックすると、並び順を逆にしてソートを行います。書庫内検索のウィンドウのサイズを大きくすると、一覧表示領域が広がり、より多くの内容を表示できるようになります。

●ステータスバー

検索結果の項目数や選択した項目数が表示されます。

●ボタン

検索開始

設定された条件で検索を開始します。

条件のリセット

設定された条件を初期状態にします。

6.3 書庫内検索の操作方法

書庫内検索の基本的な使い方を説明します。

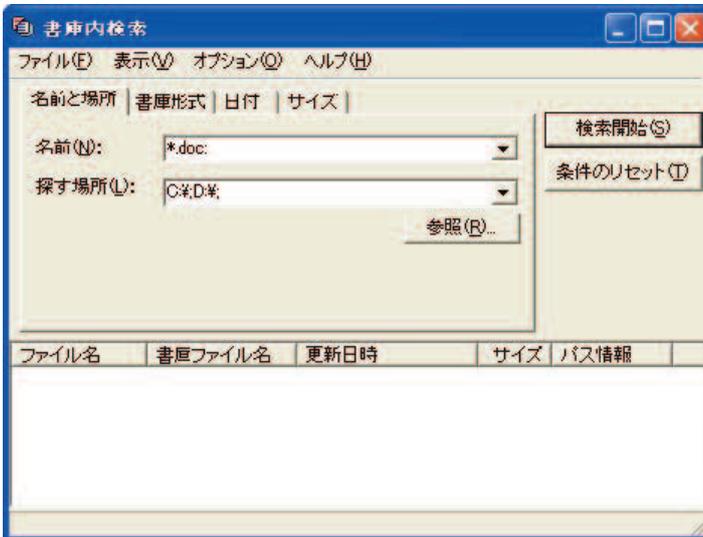
書庫内検索の操作方法

書庫内検索の大まかな操作の流れを説明します。

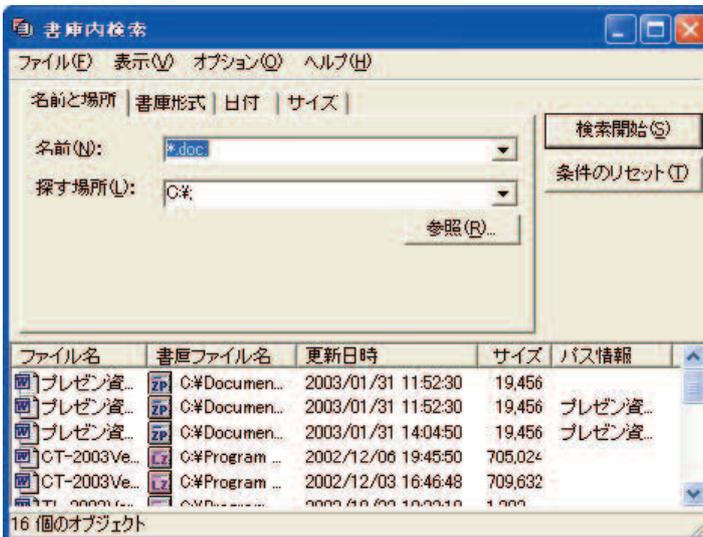
1. ファイル名と検索場所を指定します。

検索条件を詳細に設定する場合は、[書庫形式] タブ、[日付] タブ、または [サイズ] タブをクリックします。詳細については『7.4 検索条件の設定』をご覧ください。

2. [検索開始] をクリックします。



指定した条件に基づいて検索が実行されます。



3. 検索結果を利用します。

指定したファイルを解凍したり、中身を確認したりすることができます。

参照

検索されたファイルに対する操作については、後述の「ファイル操作」をご覧ください。また、検索結果の表示の変更については、後述の「表示の変更」をご覧ください。

4. 検索条件を変更して検索し直したい場合は、[条件のリセット] をクリックした後、もう一度検索条件を指定して[検索開始] をクリックします。

検索条件を変更しただけでは、一覧表示の内容は更新されません。[検索開始] をクリックしてください。

表示の変更

検索結果の一覧表示の方法を変更することができます。

●ソート

「更新日時」や「サイズ」などの項目（カラム）のヘッダー部分をクリックすると、そのカラムをキーとしてソートして表示することができます。もう一度同じカラムをクリックすると、並び順を逆にしてソートを行います。[表示] メニューや、一覧表示領域で右クリックすると表示される [アイコンの整列] コマンドによってソートすることもできます。

●表示形式の切り替え

通常、一覧表示領域には「更新日時」や「サイズ」などの項目ごとに詳細情報が表示されています。この表示形式を [表示] メニューの [大きいアイコン] [小さいアイコン] [一覧] [詳細] のいずれかの形式に切り替えて表示することができます。一覧表示領域で右クリックすると表示される [表示] コマンドの中から表示形式を切り替えることもできます。

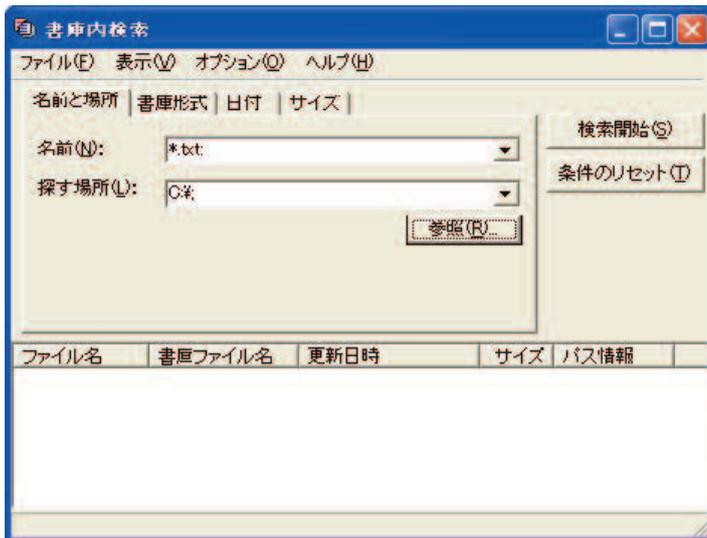
6.4 検索条件の設定

検索条件の設定は、[名前と場所] タブ、[書庫形式] タブ、[日付] タブ、[サイズ] タブで行います。

検索条件を詳細に設定すると、ファイル名にワイルドカードを指定したり、特定のフォルダを検索対象外にしたりすることができます。また、特定の書庫ファイルを検索対象外としたり、一定期間に更新された特定のサイズのファイルを検索したりすることもできます。

4つのタブで設定された条件のすべてにマッチするファイルが検索結果に表示されます。

[名前と場所] タブ



●名前

ファイルの名前を指定します。ワイルドカードとして「*」や「?」を指定することもできます。たとえば「*.txt」、「プロジェクト.*」と指定すると、該当するファイルが検索結果として表示されます。プルダウンメニュー（▼）をクリックすると検索条件の履歴が表示されます。検索条件の履歴は、10回まで保存されます。

●探す場所

検索するフォルダを指定します。セミコロン「;」で区切って複数のフォルダを指定することができます。

また、[参照] をクリックすると [フォルダの選択] ダイアログが表示されます。

[フォルダの選択] ダイアログ

フォルダの一覧が表示されるので、検索対象のフォルダを指定します。また、検索しないフォルダをツリー形式で選択することができるので、特定のフォルダ以下を検索対象外とすることができます(チェックボックスにチェックを付けたフォルダが検索対象となります)。

初期設定では、すべてのハードディスクのルートフォルダがチェックされています。



補足

- ・親フォルダをチェックすると、そのサブフォルダにもチェックが自動的に付きます。
- ・サブフォルダのチェックを外すと、その親フォルダのチェックが自動的に外れます。

書庫形式の一覧

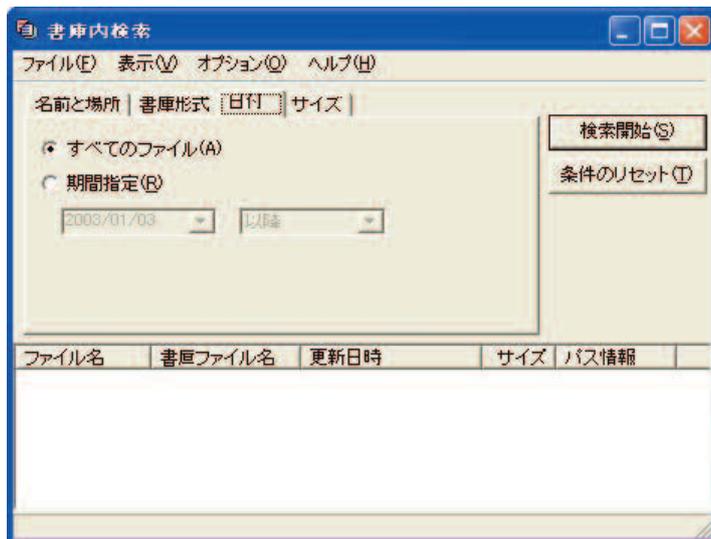


●書庫形式の一覧

チェックが付いている書庫形式が検索の対象になります。初期設定では、検索対象とすることができる書庫形式はすべてチェックされています。特定の書庫形式を検索対象から外したい場合には、チェックを外してください。

また、「EXE形式」にチェックを付けると、検索処理に多少時間がかかります。必要な場合にのみチェックを付けるようにしてください。

なお、DLLがインストールされていないなどの理由で利用できない書庫形式は、チェックボックスが無効になっています。

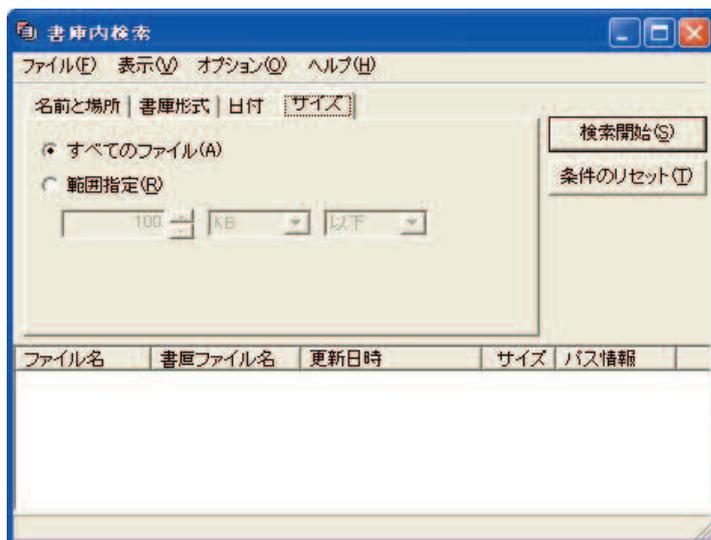


●すべてのファイル

すべてのファイルを検索対象とします。

●期間指定

ファイルの更新日時を指定します。キーボードから入力する場合には yyyy/mm/dd の形式で入力します。入力欄の右端のボタンをクリックしても指定できます。たとえば、日付に「2000/7/28」を指定して、「以降」を選択すると、2000/7/28 以降に更新されたファイルを検索対象とすることができます。



●すべてのファイル

すべてのファイルを検索対象とします。

●範囲指定

ファイルサイズの範囲と数値の単位を指定します。たとえば、数値に「1」、単位に「MB」を指定して、「以下」を選択すると、1MB以下のファイルを検索対象とすることができます。

6.5 ファイル操作

一覧からファイルを選択して、右クリックメニューから [解凍] [開く] [書庫を開く] [書庫を解凍] などのコマンドを実行することができます。

[ダブルクリック] タブ

書庫内にあるファイルの内容を確認します。

.....

1.内容を確認したいファイルをダブルクリックします。

ダブルクリックしたファイルを自動的にテンポラリフォルダに解凍し、ファイルが表示されます。

[開く] タブ

書庫内にあるファイルの内容を確認します。

.....

1.内容を確認したいファイルを選択します。

.....

2.マウスの右ボタンを押して右クリックメニューを表示し、[開く]をクリックします。またはファイルメニューから [開く] を選択します。

選択したファイルを自動的にテンポラリフォルダに解凍し、解凍した後、ファイルが表示されます。

[解凍] タブ

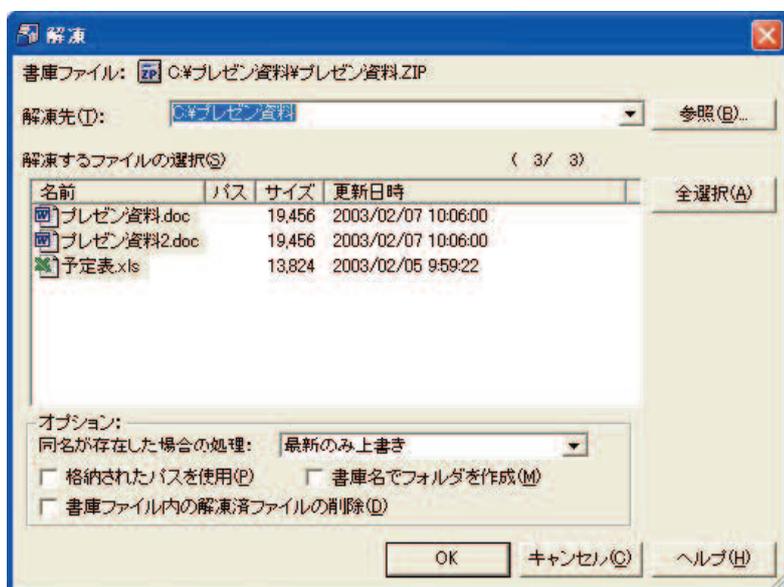
書庫内から指定したファイルのみを取り出します。

1. 解凍したいファイルを選択します。

2. マウスの右ボタンを押して右クリックメニューを表示し、[解凍] をクリックします。またはファイルメニューから [解凍] を選択します。

解凍ダイアログが表示されます。

3. 解凍先を指定して、[OK] をクリックします。



参照

この画面の詳細については、『3.2 右クリックメニューの拡張』の『解凍』をご覧ください。

終了のメッセージが表示されます。

4. [OK] をクリックします。

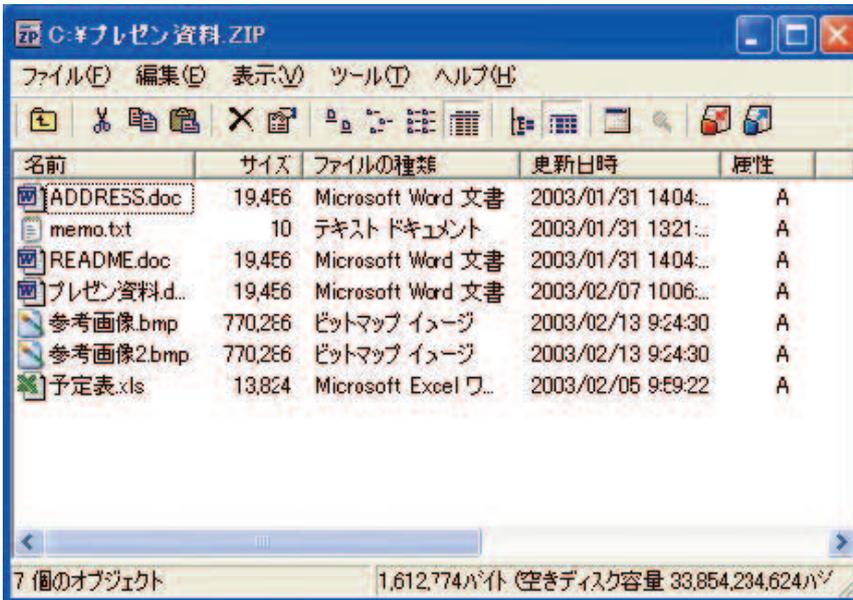
書庫を開く

書庫ファイルの内容を一覧表示します。

1. 書庫の内容を確認したいファイルを選択します。

2. マウスの右ボタンを押して右クリックメニューを表示し、[書庫を開く]をクリックします。またはファイルメニューから[書庫を開く]を選択します。

書庫エクスプローラが起動して、書庫ファイル内にあるファイルの一覧が表示されます。



参照

この画面の詳細については、『4.2 書庫エクスプローラの画面説明』をご覧ください。

書庫を解凍

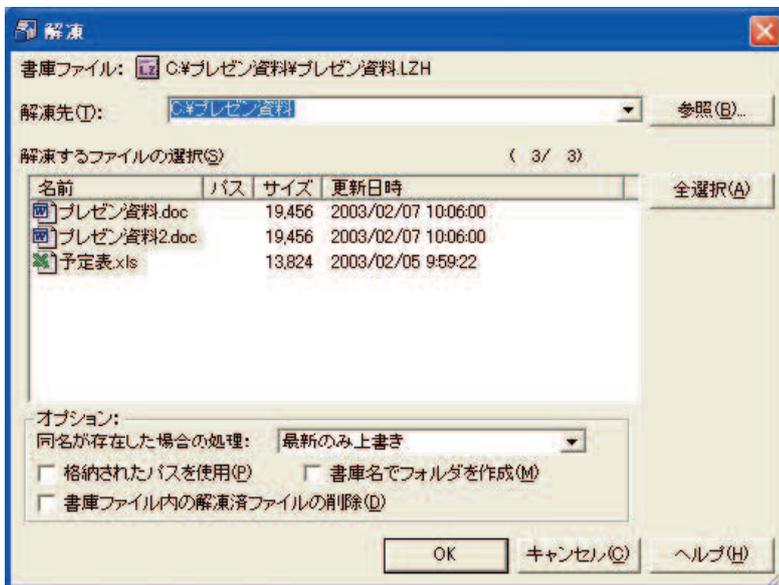
選択したファイルを含む書庫ファイル内のファイルすべてを解凍します。

1. 解凍したいファイルを選択します。

2. マウスの右ボタンを押して右クリックメニューを表示し、[書庫を解凍] をクリックします。またはファイルメニューから [書庫を解凍] を選択します。

解凍ダイアログが表示されます。

3. 解凍先を指定して、[OK] をクリックします。



参照

この画面の詳細については、『3.2 右クリックメニューの拡張』の『解凍』をご覧ください。

終了のメッセージが表示されます。

4. [OK] をクリックします。

7.環境設定について

7.1.環境設定の概要

ファイルコンパクトの設定は、[環境設定] ダイアログで一括して行います。環境設定を起動するには、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] から [ファイルコンパクト] をクリックし、スマートナビのツールバーの [環境設定] をクリックします。[環境設定] ダイアログは以下の5つのタブで構成されています。

- [関連付け] タブ
- [メニュー] タブ
- [アイコン登録] タブ
- [ツール] タブ
- [情報] タブ

なお、旧バージョンで追加機能（エクスプローラ拡張、画像アイコン）をインストールし、かつ現バージョンを上書きセットアップした場合には以下のタブも存在します。追加機能により追加されたタブ内の項目については、ヘルプを参照してください。

- [拡張]
- [画像アイコン]

7.2 [関連付け] タブ

[関連付け] タブでは、書庫ファイルの関連付けを変更します。書庫ファイルに関連付けておくと、書庫のアイコンを変更したり、書庫ファイルをダブルクリックしたときに簡単解凍を行ったりできるようになります。



●書庫ファイル

それぞれのチェックボックスにチェックを付けると、関連付けを行います。チェックをオフにすると、関連付けを解除します。以前に関連付けられていたアプリケーションが分かっているときは、自動的に以前のアプリケーションに関連付けを行います。

●変換ファイル

それぞれのチェックボックスをチェックすると、関連付けを行います。チェックをオフにすると、関連付けを解除します。以前に関連付けられていたアプリケーションが分かっているときは、自動的に以前のアプリケーションに関連付けを行います。

●ダブルクリック

関連付けられている書庫ファイルをダブルクリックしたときの動作を選択します。セットアップ時に設定した内容と同じです。

「簡単解凍」

とにかく簡単に書庫ファイルを扱いたいような方にお勧めです。すぐに解凍処理が行われます。詳細については『4.2 簡単 解凍』をご覧ください。

「開く」

書庫ファイルを解凍せず、内容一覧を表示します。旧バージョンと同じ操作性を保ちたいような場合に選択してください。また、毎回、書庫ファイルの内容をすべて解凍したくないような方におすすめです。

●アイコンを変更するには

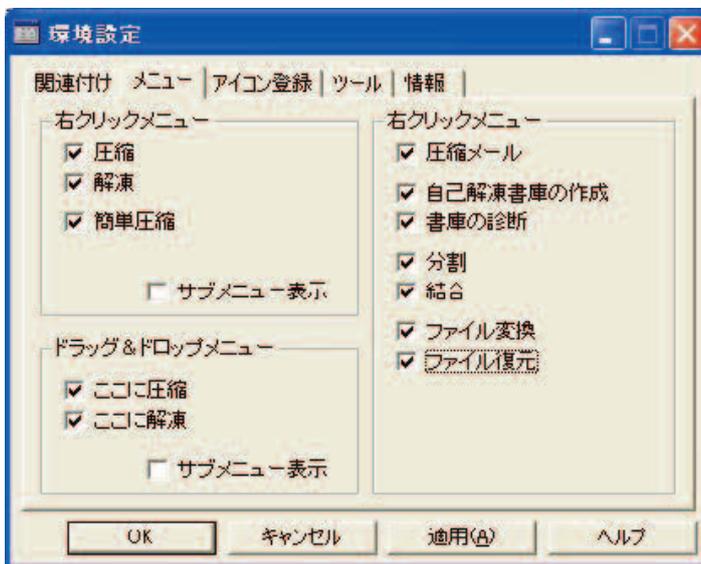
関連付けられている形式のアイコンを変更することができます。各形式のチェックボックスの左側にある、絵のついたボタンをクリックしてください。アイコン選択ダイアログが表示されます。候補の中から、アイコンを選択して [OK] をクリックしてください。この設定は、書庫エクスプローラだけではなく、Windows エクスプローラ、マイコンピュータに対しても有効です。

7.3 [メニュー] タブ

[メニュー] タブでは、右クリックメニューの拡張やドラッグ&ドロップメニューの拡張のオン/オフを設定します。ただし、これらの拡張機能をオンに設定した場合に対象となるオブジェクトは、「ファイル」と「フォルダ」です。「ごみ箱」などの特殊なフォルダ（通常のフォルダとは表示する内容が異なるフォルダ）に対しての拡張は行いません。

補足

使わない項目を非表示にしておくことで、メニューの表示にかかる時間を短縮することができ、またメニューが必要以上に縦長にならなくなるので使い勝手が向上します。



●右クリックメニュー

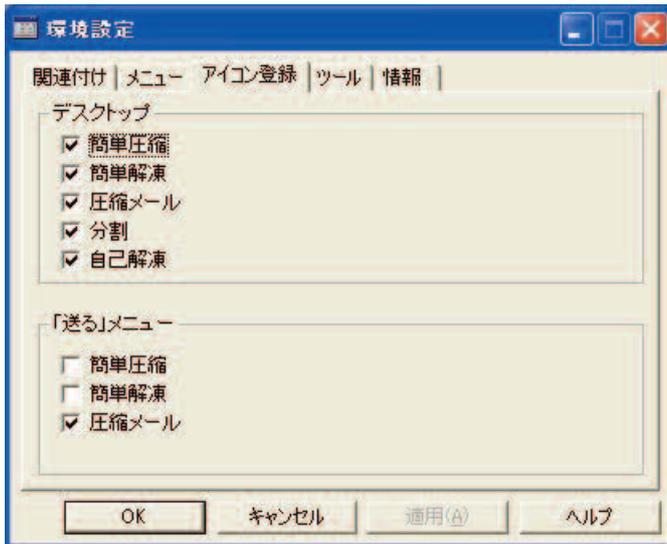
マウスを右クリックすると表示される右クリックメニューに、メニュー項目を追加します。[サブメニュー表示] をチェックすると、右クリックメニューには [ファイルコンパクト] が追加され、そのサブメニュー内に拡張メニューが追加されます。初期設定ではチェックされていません。詳細については、『5.2 右クリックメニューの拡張』の各項目をご覧ください。

●ドラッグ&ドロップ

メニューマウスの右ボタンでドラッグ&ドロップすると表示されるドラッグ&ドロップメニューに、メニュー項目を追加します。追加するメニュー項目は、[ここに圧縮] [ここに解凍] です。[サブメニュー表示] をチェックすると、ドラッグ&ドロップメニューには [ファイルコンパクト] が表示され、そのサブメニュー内に拡張メニューが追加されます。初期設定ではチェックされていません。詳細については、『5.3 ドラッグ&ドロップメニューの拡張』の各項目をご覧ください。

7.4 [アイコン登録] タブ

[アイコン登録] タブでは、デスクトップや [送る] メニューに、アイコン（ショートカットファイル）を登録します。



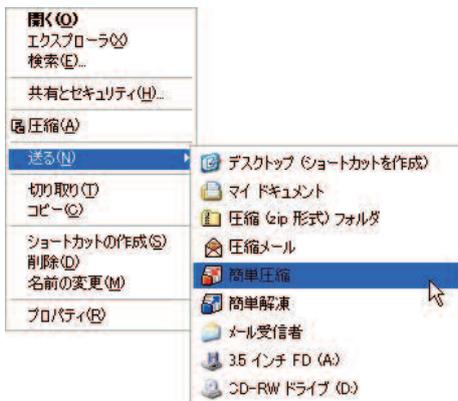
● デスクトップ

それぞれのチェックボックスをチェックすると、デスクトップにアイコンが表示されます。アイコンは、現在のユーザーのデスクトップに作成されます。そのため、複数のユーザーで1台のコンピュータを利用している場合、各ユーザー毎にアイコンの設定を変更することができます。

登録できる項目は、[簡単圧縮] [簡単解凍] [圧縮メール] [分割] [自己解凍] です。

● 「送る」メニュー

それぞれのチェックボックスをチェックすると、右クリックメニューの [送る] のサブメニューにアイコンが表示されるようになります。登録できる項目は、[圧縮メール] [簡単圧縮] [簡単解凍] です。



7.5 [ツール] タブ

[ツール] タブでは、簡単解凍などの設定画面を起動します。デスクトップにアイコンを登録していないときに設定を変更するような場合に利用します。



●簡単圧縮

[設定] をクリックすると、簡単圧縮の設定ダイアログが表示されます。詳細については、『4.1 簡単圧縮』をご覧ください。

●簡単解凍

[設定] をクリックすると、簡単解凍の設定ダイアログが表示されます。詳細については、『4.2 簡単解凍』をご覧ください。

●圧縮メール

[設定] をクリックすると、圧縮メールの設定ダイアログが表示されます。詳細については、『4.3 圧縮メール』をご覧ください。

●書庫エクスプローラ

[設定] をクリックすると、書庫エクスプローラの設定ダイアログが表示されます。詳細については、『6.5 書庫エクスプローラの設定』をご覧ください。

●ウイルススキャン連携

[設定] をクリックすると、ウイルススキャン連携ダイアログが表示されます。

7.6 [情報] タブ

[情報] タブでは、ファイルコンパクトに関する情報を表示します。



●製品情報

ファイルコンパクトに関する次の内容が表示されます。

バージョン

バージョン番号が表示されます。